

質問項目ごとの自由記述（50字以内）

※原則、原文のまま掲載しています。

ただし、特定の個人に対しての誹謗中傷・プライバシーの侵害になるおそれのあるもの等は除いております。

Q 志木の森学園(義務教育学校)では、今まで別々の学校であった小・中学校の教職員が、新たにひとつの学校の教職員組織となって、1年生から9年生までの児童生徒を「自分の学校の子供たち」として、9年間の学びを支援していきます。

このことについてどう思いますか。(1つ)

【自由記述】

- ・学力的な学びよりもそれ以外の学びが大事だと考えるので
- ・メリット…自分たちの9年間の成長の過程を実感しやすい デメリット…先生方の目が散りやすいのでは。
- ・正直なところよくわからないが、悪いこととも思わなかったので
- ・人数が増えて、先生の目が行き届かないと思う。先生も授業意外で忙しくなりそうなイメージ
- ・教師一人一人が管理対応出来る相手(児童)には限りがあるため。
- ・良さをアピールしているが、検討した過程、デメリットを考慮してこの施策に落ちてないので薄っぺらいから
- ・カリキュラム・年間行事・施設利用・人事について具体的な計画が提示されてない中、判断することは不可能。
- ・生徒が増えるだけで先生が足りるとは思えない。
- ・子供たちにとってのメリットがわかりません。
- ・同じ教員達が9年間関わっていればいいのですがどこかの学校に異動があるとあまり意味がないように思います
- ・今のままで十分いい環境だと思うから。
- ・必要ないと思います
- ・〇年生の壁といった問題が解消され、切れ目のない学習支援が可能だと思うからです。
- ・先生方の負担があると思う。志木4小の利用方法が不明確、かつ児童の学びスペースが狭くなく事が懸念させる
- ・担任の対応で不登校になったことがあります。そんな先生と9年も一緒にいなきゃいけないんだ、と思うから
- ・教職員は転勤があるので、変わるとは思えない。
- ・別々の学校を合併してまでやるメリットがあるのか疑問
- ・義務教育学校になることで、クラス数が減り、ひとクラスの人数が増えることが予想されるため。
- ・ひとりひとりに向き合うのが難しくなるため。
- ・中一ギャップが埋まるきっかけになりそうだからです。
- ・先生不足の中、カバーしあってくれそうなので。
- ・把握するのがむずかしい
- ・リーフレットにデメリットとそれに対する対応策の記載がなく、説得力がありません。現場からの声も記載なし
- ・必然性が不明。今のままだと何がだめなのか？
- ・必要性が感じられない
- ・小中一貫教育には賛成ですが、義務教育学校には反対です。50文字以内で書ききれない。簡単な理由ではない
- ・それぞれの先生が対応できるのかが不安
- ・生徒数が増えることによって学校の先生方に負担がかかるのではないかと不安
- ・色んな問題点をのぞいて考えたら、良いと思う。
- ・特徴をを活かせるような具体的な施策が明確に示されていないと感じるから。
- ・4小の校舎を使わないのは理解できない。40人クラスが増える。先生を減らしたい？子供が減ってから検討す
- ・小1と中3では体格差も大きく、不安です。また、生徒間の性暴力も増えそうに感じています。
- ・情報共有が容易
- ・ただでさえ忙しい先生方が、9学年の児童生徒たちそれぞれに気を配れるとは思えない。50文字は短い。
- ・教職員間の連携がとれて、かつ、事務的な負担が増えないという前提があれば、9年間で見ていくのは良い。
- ・二中は軍隊のようだと聞いている。体育祭などマイクでの怒鳴り声が聞こえてくる。小学生も威圧的に指導の不安
- ・必要がない。子供のためというより教員不足のための施策に感じる。子供のことを考えるなら今のままがいい。
- ・現在目一杯手一杯の学校が、統合され良くなると全く思えない。学校統合の理由がこじつけでしかない。
- ・小中一貫で先生方の負担が減るなら賛成で負担が増えるなら反対です。現場の先生方のご意見も聞きたいです。
- ・二中学区も小中一貫校でよいのではないかと？本当に子供たちのためなのかもう一度考え直していただきたい。
- ・変えても大して何も変わらないと思うから。
- ・市のお金を使うにあたり学校閉鎖(合併)で対応すべきと考えるから。校舎間の廊下は不要。
- ・今までと環境が変わる為、生徒や保護者にとって良い環境になるとは思えない。
- ・新しい取り組みは、批判もあると思いますが、やってみないことには我が子への影響も不明なため賛成です。
- ・年齢層の幅が増える事で組織的ないじめなど生徒の管理がより難しくなる可能性が高いから。
- ・今までの教育と変わらないと思うため
- ・現実的に考えて無理だと思う。よほど広い土地の学校か、一から作る学校以外に一貫校は難しいと思う。
- ・ちゃんと目が行き届くか心配。児童の人数を増やしていいことなどないと思う。

- ・先生達が病気でお休みされたり、人数が不足している状況で義務教育学校への話ばかりが進んでいき悲しい。
- ・資料の説明が不十分で不安が残る。例えば具体的な教員の数や、懸念事項に対する検討内容など。
- ・これから中学生になる児童を小学生のうちから把握できたり、中学に上がった生徒をずっと見守れるのは良い。
- ・不登校対策としてやってみるべきかと。
- ・そもそも小中一貫校に反対です。保護者や地域住民で賛成してる方を聞いたことがないので考え直してほしい
- ・情報が乏しく、実際に導入した事例の情報も少ないため、良いとも悪いとも判断しかねます。
- ・中学校へ上がるときの不安感が減るのではないかと。
- ・教員への負担が大きい。両方の資格を持つ人材の確保も課題だ。
- ・不登校やいじめは環境変化によってリセットされる例があり、9年間同じ環境が必ずしもよいとは限らないから
- ・メリットがすこしもわからない。
- ・現在の学校制度が気に入っています。少人数制で先生の日も行き届いており、素晴らしい環境と思います。
- ・教員の人数が増えるとしっかり共有できなさそう。
- ・先生の質が変わらないから
- ・多様な大人との関わりは成長に必要なだと思うので、教職員に幅がでるのはよいことだと思う。
- ・中学に入ることでの気持ちの切り替えや、友人関係のリセットしようと思っけていてもしにくくなるのではないかと。
- ・先生の負担が増えると思うし、目が行き届かないと思う
- ・先生方は小学生を見るだけで精一杯。中学生まで見るのは不可能。二中が荒れているのに一緒になるのは不安。
- ・「自分の学校の子供たち」として～とありますが、意味不明です ※上限文字数50文字は恣意的でしょうか
- ・義務教育9年間の全体像を先生達が共有する→先生方の負担増になり、結果子供達への指導力低下になりそう
- ・生徒の数が多く把握できず先生との関わりが少なくなる。保護者も先生が多いと名前すら覚えられない
- ・今のまま、現状のままでよい。義務教育学校にしなければならぬ必要性を感じない。理由が分からない。
- ・部門による学習保障、児童の発達保障に対しての教員の意識やスキル、教員間での協力体制等、心配がある。
- ・別組織でも小学校・中学校の教師同士の連携をよくすればよいことだと思う。
- ・体格差、学習能力差が大きすぎるため
- ・教師の負担や子供達の戸惑いを考えると現実的じゃ無い
- ・生徒の人数が増え、目が行き届くが心配。
- ・教員不足を目の当たりにしている現状で、統合してプラスの効果が見込まれるとは思えない。
- ・小6卒業式がないのは可哀想。小1と中3が同じ学校内って体格差から見て子供自身も違和感怖いのではないかと
- ・小学校6年間慣れ親しんだ先生と中学になっても関わりあえるのは良いことだと思ったから
- ・教科事に先生が変わるのが早まる事の良さがわからない
- ・先生方の負担が増える。負担を減らそうとすれば広く薄くなり、今までと同じレベルで手厚くは見てもらえない
- ・実験的に開始されるこの制度に子供が巻き込まれるのは嫌だなと思うので
- ・途中から違う小学校が合併してお友達作りや学校生活が一からではないにしても、その不安があります。
- ・一貫のほうに安心感がある
- ・規模が大きくなりすぎる事
- ・9年間関係が固定され、世界が広がらず、いじめなども継続する懸念がある。選択肢としてはいいと思う。
- ・先生たちの負担が大きくなるから
- ・義務教育学校設置の必要性が今ひとつ理解できていない
- ・現状、教員不足や子供達への対応の不十分さを感じている中、義務教育学校になって向上するとは思えない
- ・小中の先生方が一貫して子どものそばにいてもらえることは親としても安心です
- ・小中を通し情報共有できれば良いだけのこと 計画の白紙撤回を強く望みます
- ・現状でも教員不足、精神的な理由から教員の退職者がでる状況であゆ、新制度を導入できる状況とは思わない
- ・分断がなく関わりがあるのは良いと思います。もちろん生徒数が増えるので全員の把握は難しいと思いますが…
- ・小、中は元より義務教育では？なぜ義務教育学校という考えに至るか。子供側の負担は考えられているか。
- ・現時点では人数が多すぎるし、教職員の転出転入もあるからそんなに効果はないと思う。
- ・小中学校の情報連携が円滑になるのは歓迎。「中学生になった」と1段成長した経験はしっかりさせてほしい
- ・時代が変わっているのに新しい流れに対応して新しいことに取り組むことは良いことだと思う
- ・事前にどういう子か、どういう雰囲気のある学年か等、興味を持っていただくだけでもありがたいと思うので
- ・小学校時の教員の対応について不安を感じたことがあり、それが中学まで繋がることは良いことばかりではない
- ・小学校と中学校の区切りは大切だと思うから。
- ・今のままでいいのですか？3校合同のため授業内容を揃えるため消えたもあるので良いとは思わない。
- ・統合によって教職員の人数が今より少なくなるのが心配
- ・中学校教諭は研究職であり専門家としての教育を、小学校教諭は小学校教諭としての専門性があり、両方は無理
- ・小中切れ目なく学生をみるとあるが、初めての取り組みだとしたらそれに対応できる教員が少ないと思う
- ・メリットばかり書かれていて、正直不信感がある
- ・ムリがあると思います。先生の配置 忙しさ 工事 いろいろな面で
- ・長い目で見ていただけるのはありがたいが、先生達の異動があれば本当に長い目で見てくれるのか少し疑問。
- ・先生達の負担が今でも大きいのに、さらに大きくなり健康面で不安がある他、子供達に目が行かなくなるのでは

- ・ 在校生保護者の理解が未だに不十分。義務教育学校が生徒にとってメリットなとは考えにくい。
- ・ 中学で別の小学校と統合してからギスギスしたりイジメで不登校になった子を見てきたから。
- ・ 一見良さそうな言葉で、真意がわからない。
- ・ 今のままがよいので。
- ・ 小学校と中学校の先生が混合して、1～9年生の児童達を教えることが、具体的に想像することができないから
- ・ 文字数が50では足りません。
- ・ 9年一括にするメリットが明確に決まっていないため。
- ・ 小学校生活の途中から環境が変わることに不安があります。義務教育学校は本当に必要でしょうか？
- ・ 現在ただでさえ教職の人員不足であるのに、住民からの賛同もとれていない変化に際し、人員が離れてしまう
- ・ 小・中の異なる教員免許を所有している先生達の具体的な運用方法が明確に示されていないため。
- ・ 小学校と中学校での習う範囲のダブリがなくなれば良いと思うから。
- ・ 元々の小学校でやっている伝統的な事を無くしてほしくないから。四小の鼓笛隊は続けて欲しいです。
- ・ 小学校の先生、中学校の先生それぞれのやり方の違いが大きいように感じます。
- ・ 市のプレゼンが下手すぎて住民との信頼関係がボロボロに見える。このままでは上手くいかない。
- ・ 小学校でそれぞれ違う伝統等で育ち中学でそれらの違いから生まれる新たな発見や考え方を知る機会がなくなる
- ・ 環境の整っていない状態で3校を一緒にするのはありえない事だと思う。利点が見つからない。
- ・ 途中からなのあまりよくない。
- ・ [義務教育学校]ではなく、市内の他の小中学校と同様に[小中一貫型小学校・中学校]が良い。
- ・ 良いのか悪いのかわからない、事前アンケート取られても分かりっこない為。これにした
- ・ 小学校の先生と幼稚園の先生の役割が違うのと同じく、小学校と中学校の先生の役割も全然違うものだから。
- ・ 6年生という最高学年という自覚と責任を持たせたい。機会損失ではないか。
- ・ 受験等で2中へ進学しない場合もあり、小中の区切れがあっても良いのではないかと思う。
- ・ 現状授業をやりきるのが大変そうなのに先生が減って子供達を取りこぼしなく支援できるとは思えません
- ・ 現場の教職員の混乱や疲弊が想像される。理想に掲げてる姿があるようだが、発生する問題に蓋をしている印象
- ・ 先生が負担になり先生不足を引き起こしかねない。
- ・ 経験の浅い先生が9学年全体を考えられるのか負担が大きい。公立は異動もあり誰が一貫校を継続して見るのか
- ・ 児童数が増えると先生方が自校の生徒を把握しきれず、より良い教育環境になるとは思えない。
- ・ 理想としてはよいと思うが、違う校舎の子供達をどこまで見れるのか謎。
- ・ マンモス学校になり志木の森学園とゆう学校名がダサくて行かせられません。
- ・ 市民に対する税金の使い道が不透明。全員に説明がされていない。空中渡り廊下の件など、記載されていない。
- ・ 既にその方向で決まっているのであればそれを前向きに捉え、良いものとして進めていくべきだと思ったから
- ・ 義務教育学校にするメリットが少なく、内容も薄い。今と違うやり方することで子供や親に混乱が生じる
- ・ 組織が大きくなると目が行き届かなくなる、責任意識が薄れるのが常だと思うので不安がある。
- ・ 実際に自分は志木二小、中の出身だが、当時も4小出身者と教わり方に差があると感じていたから。
- ・ 先生方の負担が増えるだけの様にしかみえません。世界の教育の方向と逆行している
- ・ 義務教育学校に変えるメリットが何一つないから。
- ・ 小学校と中学校の教育は、別物の方が良い。中学校入学を期に仕切り直そうとしている生徒はたくさんいる。
- ・ 中学受験も盛んな埼玉県において、義務教育学校の枠組みが合っているとは思えないため。
- ・ 中学生と小学生が同じ環境で、お互いを近い存在に感じ、目標にしたり、面倒をみる交流が生まれるから
- ・ 小中一貫教育は良いが、私立中学への進学も見据え、学年段階の区切りは従来通り6-3で分けてほしい。
- ・ 6年生のリーダー感が無くなる。個々の活躍の場が減りそう。メリットばかり押し出された動画でなく詳細希望
- ・ これまでの6-3との違いがわかりません。違いがわかってから初めて良い、悪いの判断がつきます。
- ・ 児童数が増えるのに教員数が減るのでは日常的な指導が行き届かないと思う
- ・ ひとつの学校になり生徒数が増えて、きめ細やかな生徒に寄り添った学校生活が送れなくなるのか不安がある。
- ・ 学校の規模が大きくなりすぎて子どもたち個々に目が行き届かなくなると思う。
- ・ 義務教育学校が必要なのかと疑問に思う。よって反対。中高一貫教育を数年取り組んだ上で再検討願う。
- ・ 具体的にどのようなメリットを打ち出すのかが分からないから。
- ・ 担任も学年を超えて毎年変わると思うので、結局は、一年ごとの対応で終わる今の状況と何も変わらなそう。
- ・ 生徒の人数が多く、先生方は生徒一人ひとりを把握しきれないと感じるから。
- ・ 先生方が児童全員を「自分の学校の子」として認識するのは、かなり小規模の学校でないと難しいと思います。
- ・ 文字通り、全校生徒を「自分の学校の子供たち」と認識して支援いただけるのであれば良い事だと思います。
- ・ 渡り廊下でつないで一つの校舎とするのは無理がある。様々な問題が考えられるが、そのことは置き去り。
- ・ 欠点と比べて、利点が少ない
- ・ 子どもたちの心を先生方が見逃しそうである。
- ・ 逆にメリットがよくわからない。中1ギャップ、不登校が発生しなくなる根拠は？職員の人件費削減のため？
- ・ 子どもの為とありますが、他に理由がある気がします。例えば教員不足とか財政難など。
- ・ 大規模になればなるほど、生徒と先生との関係は希薄になることは明らかだから。
- ・ 教師の負担が増えそう。運動会、校外学習、修学旅行などの行事かをどうやるのか疑問

- ・生徒数が多すぎて弊害の方が多くなりそうとを感じるから
- ・子どもは、途切れなく一続きに発達していくので、途切れない学校環境で安定した生活が望ましいと考えます。
- ・いじめや不登校、様々な悩みを抱えている生徒が学校に馴染まなくなった時に逃げ場がないように感じる
- ・管理職が減ることの不安。この校区だけが義務教育学校になることは、実験台にされているように感じる。
- ・いいと思うが教職員の負担を考えると本当に実現可能かは疑問
- ・教職員の人数も相当増えるので、生徒と先生の距離感、接する機会が多くなるわけではないと思う
- ・教員の負担増えるため、様々なところに影響がいくと思う
- ・中学に上がる際のギャップは、少ないほうが良いと考えるため
- ・小中一貫には賛成。義務教育学校にする必要性は感じない
- ・メリットよりデメリットの方が多いとを感じるから。
- ・大人数の子供達に目が行き届くのか一人一人の生徒と向き合えるか心配。
- ・4小のクラス数が少ない。友達環境が変わることが生活を豊かにすると思う。本人も楽しみにしています。
- ・今の少人数のクラスで、先生の目が行き届き特性が敏感な我が子には今の少人数制が合っているの考えている為
- ・統合するメリットが見当たらない。市政のメリットを市民に無理やり押し付けてる感じがする。
- ・生徒に対しての先生の人数も変わらないとしても、小学校のうちは各学年は3クラスぐらいまでが良かった。
- ・事前にこうなることを通う生徒保護者への意見交換や相談の期間が全くないため。
- ・子供の人数も減っており、また教員数も減っているように感じるため9年教育でもいいのかと思います。
- ・あまり有意義と思えない。渡り廊下はメリットよりもコストのデメリットを感じる
- ・中学生の影響を良くも悪くも受けるため、中学生の雰囲気が悪いと小学生にも影響する
- ・実際に先生達が9年もの生徒達にどれだけ対応できるのかがはっきり見えないから。
- ・学習の躓き、子供の注意事項がスムーズに従来の13-15才に伝わるため。
- ・先生方の意識の問題とも思いますが、これまで以上に増える生徒達にきちんと目を配る事が可能ですか？
- ・メリットばかり説明されているが根拠が示されず、全国の先進市のデメリットだった情報も開示してほしい。
- ・9年間を通して、多くの先生方が子供達を見守ってもらえる環境になりそうだから。
- ・決定前に少なくとも通っている人にアナウンスがあるべき。丁寧な対応とは思えず賛同出来ない。
- ・マンモス校になり、今と同じように教育を受けられるとは思えない。デメリットの方が多いとを感じるため。
- ・そも「自分の学校の子」として接するのは現状と同じはず。9年だとより良くなるという根拠が伝わってこない
- ・教師の負担が増えないか心配だが、児童にとっては社会性が培われると思う
- ・小学6年生から中学校に在学でき、先が見通せる、他2小ともつながり多くの人との交流ができるから
- ・現状で満足しているので義務教育学校にする必要がない。校舎を建て替えることを決定してから話を進めるべき
- ・理想やいい部分が多いがマイナス面も考えている姿を見せて頂けると地域の人との考えの距離も近づいていくのでは？
- ・科目毎に担当が変わるなど、子どもの内容理解に役立ちそうだから。
- ・教育に対して様々な取組を試みるのは評価したいと思うから
- ・目的がよく分からない。
- ・何が良くなるのか具体的にわからない
- ・全く理解できない。市民の多くが反対してる中で推し進めてる意味がわからない。
- ・人の異動は刺激にもなるのであまり良いとは思わない。
- ・1年生と9年生では教え方のポイントが異なると思うから
- ・一貫教育になることで、勉学に対するアプローチ方法が増えることになると思うため。
- ・九年間連続してみてもらえるのは良いと思うがざっくりしていて内容がきちんと決まっていないことが心配。
- ・進学時における指導の引継ぎ等が容易になるほか、9年間の指導実績が同一校に蓄積されていくのは良い。
- ・現在生徒数が少なく手厚い指導が受けられていると感じるがマンモス校になる事で目が行き届かなくなるのでは
- ・メリットがメリットだと思わない。良さがわからない
- ・何故、今、無理矢理にこの事業を進めるのか全くわかりません。大反対です。市民の意見を聞いて下さい！
- ・中学校に入学することで、新たな気持ちでスタートできたり、新しい友達ができる場合もあるから。
- ・教員の責任感を増すことが期待できる。一方で負担増の懸念もある。
- ・小中の垣根がなくなるのは良いことだと思う。
- ・ずっと同じ教職員、同じ環境ではなくて中学高に上がるタイミングで変化があった方が良いから。
- ・まだ、メリットがよく分からない。
- ・児童数が増えるため、教職員が児童一人ひとりを把握することが難しくなると感じるため。
- ・一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導ができるのか不安。4小の鼓笛隊を失くしたくないと子供が言ってる
- ・規模が大きすぎて、目配りが疎かになる、行事の際の生徒への負担が大きい、等の懸念があります
- ・教職員の方同士の連携が取りやすくなりそうに感じるため。
- ・中高一貫校の制度はおおいに賛成だが、発達段階の違いが大きい小中一貫校には、メリットを感じない。
- ・自分も公立でしたが、小中一貫でした。みんな仲良かったです。
- ・義務教育学校のメリットも理解できない。義務教育制度を我が子が通う学校で試してみる感じが否めない
- ・子供が嫌がっている
- ・外部から不足の先生を入れるのではなく、先生の増やすべきではないですか。

- ・ 過疎化の地域ではないので無理して統合する必要性を感じない。大規模になることで、教職員の負担が増えそう
- ・ 兄が中学に入学し、ギャップを感じたから
- ・ メリットを何も感じない。校長とか教師が減って逆に大変になる。
- ・ 小学生と中学生の先生は生徒に対する対応や生活指導も全然違うと思う。何も一緒にすることは無い。
- ・ 一貫教育にする理由について説明が不十分である。ほとんどの方が理解していないと思う。
- ・ 良い取り組みだが義務教育学校でないと出来ないのか分からない。
- ・ 渡り廊下を作る案に納得いかない膨大な資金がかかる上に直接子供達の為になるとは思えません
- ・ 教員が多くの生徒を抱える事になり、細かい事まで把握出来るのか心配。
- ・ 小学校で学んでいたことが、中学での学習内容と繋がらないギャップを埋め、一貫性を持った学習内容を希望。
- ・ もっと規模の小さい学校なら、9年間一貫の安心感もあるが、現在の生徒数では目が届くとは思えない。
- ・ 9年間にし、校舎と校舎の間に通路を作りお金をかけてやることではないと思う。新しく校舎を作りたい。
- ・ 特に不安も不満も感じない。
- ・ 見る範囲が増えて先生の負担が増える。または、各学年、担任の範囲内を担当するので今までと変わらない
- ・ メリットに魅力を感じない。成果の為の実験台に思える。関係者は自らのお子さんを是非通わせたいと思うのか
- ・ 今まで教科によっては二中の先生が二小で授業を行っていた「自分の学校」と言うほどの垣根はないはず
- ・ 理想ではあるが、異動やクラス替えが毎年あり、担任のスタイルが変動せざるを得なく、定着は難しいと思う
- ・ 例えば何人の先生がみるのか？増える？減る？などデメリットもあわせて教えてもらわないとなんとも言えない
- ・ 小学校で少人数学級がなくなり、良さを感じなかった。
- ・ 既に中学校の先生が小学校に来てくださったり小学生が中学校で授業を受けたりしていてそれで良いと思うので
- ・ 小学校と中学校で継続的な教育ができるようになることは良いことだと思います。
- ・ 中学校の先生は厳しめなので小学校には合わない6年生から校舎が変わる事で小6ギャップがうまれる
- ・ 働き方改革のため、子どもたちファーストではない今、より目が届かなくなると思うから。
- ・ 子供にとっては、良い経験になる場面もあると思うので。
- ・ 子供たちのためというより、教員の負担減に重きを置いているように感じるから
- ・ 関わる人数が増える分、関わりや理解は浅くなるのではないかと思います。
- ・ 9年制だと6年生で最上級生という責任感を持てなくなる。4年生は発育の差がある。50文字では足りない。
- ・ 小中学校の先生が同じ職員室とあるが、校舎は2個使用しているのに片方に先生が偏るのは、防犯上不安。
- ・ 鼓笛隊など良い所がなくなる。制服や体操服の変更がとても負担。今の学校に満足している。税金の無駄。
- ・ 中学生の教員に女子生徒の名前を呼ばず「おい、その女」と呼ぶ先生がいるそうです。小学生には無理です
- ・ 子どもたちのことを考えてない。周りに賛成の保護者はいない。
- ・ どちらともいえない、の回答がありません。メリットの記載はありますが、デメリットの記載がなく不安です
- ・ せっかく専門的な教育が受けられるところを、免許を持つだけの未経験者が担当になる可能性があると思う。
- ・ 今の状態で何も問題がない。変更ありきで話が進んでいることに疑問。保護者の意見を聞いてから始めるべき
- ・ 先生の異動があるなら9年間成長を見守ることは不可だから
- ・ メリットが明確ではない。子供達にメリットはあるのか？
- ・ 義務教育学校として、小中一貫校にする意味、意義が分からない。
- ・ 先生や友達が9年間かわらないので人間関係での悩みが減少する。学習面でも教員間での引き継ぎを行いやすい
- ・ 幅広い先生方との関わりが可能になれば良いと考えます。
- ・ 現在も先生方には他学年他クラスの子供に関心も無いように見え規模が大きくなって意識が変わるとは思えない
- ・ 通い始めている子達の生活を変えストレス、不安についてはなにもかんがえられていない。
- ・ 教科担任制に出来るのであればいい。ただ、指導は従来通り担任がと言うのであればあまり意味ないかなと思う
- ・ 小学校卒業の達成感や中学校入学という希望のメリハリがなく、だらだらとした9年間になってしまう為。
- ・ 小学校の間は少人数の細やかな教育を望んでいますが、マンモス校では個別の対応が難しく不安に感じるため。
- ・ 2中学区のみ 4-3-2 制、1300 名のマンモス校にしなければならぬのか全く理解ができない。
- ・ 学年にもよるかと思いますが、小学校高学年には良いと思いますが、低学年には向いているのか判断しかねます
- ・ 人数が多い
- ・ 大人数になり、先生方が一人ひとりの子どもたちのことを丁寧にみるのが難しくなるのではないかと思います。
- ・ 本当に9年間で一貫していて、それぞれの子供にあった学習が出来るのであれば良いと思います。
- ・ 中学の内申点が小学校の時から引き継がれそう。先生が同じだと似たような評価になりそう。
- ・ 小6の立場は最高学年としての成長の機会だと思うため
- ・ これまで6年生が担ってきた小学校をまとめていく役割が4年生に移ると経験不足になる不安がある。
- ・ わざわざ2箇所集約しなくても良いと思います。
- ・ 今のままで全く問題なく教育が来ているため。わざわざ1つ校舎を捨ててマンモス校みたいにする必要がない
- ・ 教師側が不透明。校長が一人でそのほかの組織図が示されてなく、協力関係に信憑性が持てない点。
- ・ 教員の数が減り今より教育の質が良くなるとは到底思えない。今までの学校を変える必要性を全く感じない
- ・ 小学生のうちから部活動に取り組む中学生の姿を見ることは、良い刺激になると思います。
- ・ 一緒にするメリットに説得力がない。
- ・ 実行してから色々な問題が起きそうで戸惑う

- ・ 今までのままがいいです。渡り廊下を作るために高額な建設費がかかると聞きやめて頂きたい。
- ・ 学年の幅が大きすぎるとマンモスになりすぎるから。
- ・ 小中学校の先生が継続して子供をみってくれることは、見守りも含め成長につながる。
- ・ 合併のメリットより、デメリットの方が大きいと感じられます
- ・ まだあまりよくわかっていないので問題はないかと思っておりますがデメリットについてももっと知りたいです。
- ・ 6年生という節目の時期を失う事で、成長する機会を一つ失う。マンモス校すぎる。
- ・ 何度説明を聞いても変える意味があるようには思えないので
- ・ そもそも義務教育期間を少・中で分ける意味がわからないから。
- ・ 最高学年の立場がなくなり中学校舎に放り込まれる6年生のアイデンティティ確立に対し支援が必要となる。
- ・ 中学生になってもお友達が変わらないので刺激がない。部活動の先輩後輩関係がゆるくなり成果が出なそう。
- ・ 先生の数に対して、生徒が多すぎる。生徒一人一人に対して細やかな対応、指導ができると思えない。
- ・ 校舎を行き来する必要なし。そのために渡り廊下を作るのは税金の無駄
- ・ 一緒にする必要性が不明。先生方の人間関係も複雑になって、先生方はやりにくいのではないのでしょうか。
- ・ 子供の年齢幅がありすぎるのでは
- ・ 行きしぶりがあるので逆に切り替えができない気がする
- ・ 1年生から9年生は、発達の差も大きい。それぞれの学年に合わせた専門性を大事にしてほしい。
- ・ 義務教育学校に変更する必要性を全く感じない。小1と中3を同じ学校で管理できると思えない。
- ・ 今でも先生が一人一人に目を配れているように思えない。
- ・ 母体が大きくなればなるほど組織として細かなところまで手が回らなくなるそれだけの教師の意見が一致しない
- ・ 中学に上がって、2小4小の境がなくなるのはいいと思う。が、先生への負担が大きくなるのが不安を抱く。
- ・ 志木第二小学校、志木第四小学校、志木第二中学校のままの方が良いのに義務教育学校になろうとしている為
- ・ 9年間の義務教育が定められている以上、区切りがある事自体にも疑問点はあったため。
- ・ 6-3制を5-4制にする目的がわからないからです。
- ・ 考え方は良いのだが、1,300人の児童生徒を自分の学校の子どもたちとして一括りにするのは無理がある。
- ・ 義務教育学校にするメリットが全く理解できない。計画は白紙に戻すべきだと思います。
- ・ 志木の森学園に賛成だから
- ・ 人数が増えることによって顔と名前も覚えられず、更に手が回らなくなってサポートが手薄になりそうだから。
- ・ 現状のままで全く不安も不満もない。義務教育学校に変更した際のメリット等の説明も魅力を感じない。
- ・ 先生方の目標、意識として掲げていても実際には全ての学年への関わりは自分の担当学年以外難しいと思う
- ・ 現状で満足なのに、一貫校にする理由が不明。市民アンケートも取らず強引に推し進めるのが理解できない。

Q 志木の森学園(義務教育学校)では、志木第二小学校校舎と志木第二中学校校舎を渡り廊下でつなぐ予定です。このことにより、1年生から9年生が一体的な校舎で生活し、例えば、中学生と小学生が気軽に声をかけ合う機会が増えたり、運動場や図書室で一緒に学習したりします。
このことについてどう思いますか。(1つ)

【自由記述】

- ・ その金額をかけるなら、先生をさらに追加で配置したり、先生の事務仕事などをする人員を雇用してほしい
- ・ 中学生は多感な時期。小学校低学年はまだまだ幼い。低学年の子は一緒に学校生活にストレスを感じると思う。
- ・ いまの学校環境で何も不足はないはずです。それよりも使用していないプールの対応などに当てるべきです。
- ・ 人との交流は多い方が良くから
- ・ 廊下自体の耐震性が心配。廊下を新設するより、学校間の道路も学校敷地にするなどした方が良いのでは
- ・ 工事期間や費用は知らされていないので市民に知らせるべき。工事中1300人以上の生徒の安全は守れるのか
- ・ 一緒にすれば仲良くなるというのはあまりに安易な考えだと思います。どれくらいの投資対効果があるのか？
- ・ さすがに9歳差は精神年齢差が激しく低学年ほど精神的負担が大きい
- ・ わざわざ古い校舎にお金をかけて渡り廊下などつける必要がないと思う
- ・ 渡り廊下でつなげる＝異学年交流が活発になるということではないのでしょうか？
- ・ 中学生と小学生での交流が必要とは思わない。話し掛け合うのは難しいと思うしいじめなどに繋がりがかねない。
- ・ 本当にそうなるのか疑問。
- ・ 悪天候時は渡り廊下がないと大変 廊下の幅は朝霞第5小の廊下の幅はあったほうが良いです
- ・ 小学校低学年の子どもが知り合いもない中学生と交流するとは思えない。体も大きく怖いと思う子供もいる
- ・ 2小はもともと異年齢で休み時間遊ぶことも多いと聞いています。中学の年代でも異年齢の繋がり継続を期待
- ・ 異年齢交流は社会で自立した生活を送るために欠かせないことだからです。
- ・ 想定している効果は少なくさらに予算以上に税金もかかり(パルシティの前例あり)税金の無駄にしかならない
- ・ イジメなどがないか心配
- ・ 面倒見が良ければいいのですが、体格差でのイジメが絶対起きないとは言い切れませんよね
- ・ 渡り廊下という中途半端なものではなく、新校舎でいいのでは？コストカットと言われても仕方ないと思う。
- ・ 短い休み時間で準備をして、さらに移動距離が増えると子供達の負担になってしまうと思う。
- ・ 必要がない。

- ・小学生が中学生の様子がわかるのは良いと思う。
- ・学年をこえて地域の子たちで仲良くできそうなので。
- ・工事費が高い
- ・良い点のみ記載あり。小学生と中学生とが日常的に交わればトラブルも起きます。対応策の説明がありません。
- ・小規模校なら可能かと思うが、現状の人数だとほんの一握りだけだと思う。交流は今の校舎でも可能
- ・莫大な費用をかけてまで物理的に校舎をつなぐ意味が分からない
- ・渡り廊下で繋いだところで、教室移動以外の行き来はなく、交流はないと思います。時間もない。
- ・無理に児童生徒を2校に詰め込んでいる印象を受けます。増築するだけではより良い教育環境とは言えるか不安
- ・もし、渡り廊下で学年を超えて話す機会があるのならば、良い事ではあるが、それがとても良い事とも感じない
- ・お金を掛ける所が違うと思う
- ・四小が一番新しい校舎だと思うが、使わないのはもったいないのではないかな？
- ・危険なこともあると思うから。難しいと思います。
- ・子どもの視野が広がる効果があると思うので。具体的な交流の場もあつたらいいと思う。
- ・中学生が小学生に声をかける気がしない
- ・中学生が小学生のお世話をすることで承認欲求を満たす物に感じる。
- ・建築上、古い建物に負担にならないのであれば、良いと思います。
- ・他の学年の子たちに気を配る、声をかけるというのは現実的ではない。自分たちのことで精いっぱいではないかな
- ・特になし。
- ・良い知識だけではなく良くない知識まで身に付きそうだから
- ・渡り廊下は必要がない。結構な距離がある為、耐震的にも不安。無駄な税金を使わなくてもいい。
- ・人と人が生活の中で繋がりにくいと感じる今の世の中なので、多くの人と出会う機会があるのは賛成です。
- ・3つの校舎にいた子供たちが2つの校舎に押し込められる意味がわからない。
- ・ポジティブな面より、怖いしからかわれるし目をつけられたくない等ネガティブな問題の方が起こりやすそう
- ・校舎自体が古いので耐久性があるのか心配。何年使う計画なのか？税金を使う費用対効果はどうなのか？
- ・9年生を主張するなら一緒に校舎で常に存在を意識する環境でなければ意味はない。行き来するなら現状と同じ
- ・渡り廊下の工事に税金を使うのは税金の無駄遣い。工事中、通学路が変わると、不便な上子供の遅刻が心配。
- ・渡り廊下を作るには距離がありすぎて、地震があった場合などの強度に不安がある。
- ・早いお子さんは3年生から思春期が始まり上級生と仲良くしようとは思わない。
- ・渡り廊下でその風土はうまれないと思うから。もっと違うことに費用をかけたほうがいいと思う。
- ・予算はどこからでるのか。お金がかかるし、余った教室がもったいない。
- ・単純にしないでよい、必要ないことだと思うから。
- ・工事するのも3校を2校にするのも理解ができません。通学班もなくそう言う取り組みも理解できません。
- ・1年生と9年生では頭脳も身体も発達度が全然違う。悪い方に作用する可能性もある(いじめや性加害など)
- ・渡り廊下ある必要性がそこまで感じない。予算ももったいない。
- ・小1～小6は小学校、中学生は中学校とする今まで通りが良い。六年生が最上級生として低学年のお世話をして
- ・高額なお金を使って渡り廊下を作る前に老朽化した校舎の修復等をして欲しい
- ・渡り廊下に莫大な金額がかかるためその予算を他に充てて欲しい。渡り廊下は現実的ではないと思う。
- ・タテワリ教育の趣旨は分かるが、校舎間の移動の時間、安全を考えないといけない。
- ・渡り廊下を設置しなくても、交流はできると思うから。防犯面、安全面の事を考えると設置しない方がいい。
- ・建て直した方が良い
- ・費用をかけるなら増え続ける不登校に費用をかけて対策をすべき。
- ・お金の無駄
- ・現在も交流があるので、今のままで問題ないと思います。
- ・良いとは思いますが、生徒の気持ちになると何も変わらないと思う。なぜ大人がここまで騒ぐのか理解できるか不明
- ・行き来できるのは効率的
- ・先輩・後輩の立場を学べるから。ただ、上の学年からの悪質なかわいがりが発生しないかは心配。
- ・小1と中3ではさすがに体格さや、習慣の違いがおおきく特有のトラブルも起こるのではないかな
- ・渡り廊下は難しいと思う
- ・良い面ばかりではない。中学生から目をつけられることもありえる。
- ・神戸連続児童殺傷事件を思い出します、中学生は体格は大人でも心は子供です、小学生との接触は控えて欲しい
- ・よいとは思いますが、負担や不安に思う子の気持ちも尊重してあげて欲しいです。
- ・中学生が学習に集中出来るのか不安(低学年はまだ騒いだりする)逆に低学年は中学生を怖いと思わないか心配
- ・人との関わりが多いことはありがたいこと。
- ・渡り廊下一つでは、解決しない
- ・実際には世代間交流が活発になると思わないし、第二次性徴期の生徒指導に不安を感じる。
- ・学校間の道路は自動車も入って来ないので、普通に歩けばいい。必要性が乏しい。税金の無駄遣いではないかな。
- ・今ある施設がもったいない。統合せずそれぞれの施設を使えばよい。大人数が1つの施設に集中してよくない。
- ・3校にいた生徒をわざわざ1箇所に集めてマンモス校にするメリットが感じられない。渡り廊下の安全性は？

- ・ 渡り廊下を作って交流が深まるとは思えない
- ・ 二つの校舎をつなぐ工事はどうやるのか？まだ説明がなく何とも言えない。無理につなぐ必要はないのでは。
- ・ 小6くらいなら分かるが小1となるとみんなが優しい訳ではないと思うし怖い思いや問題点が出て来そう
- ・ あまり良いと思わないというより、特にこれに関しては良いも悪いも今のところわかりません。
- ・ 廊下ができても行き来するかわからないから
- ・ 物理的・精神的危険が増えどちらにもストレスを与える恐れがある。模範的生徒像しか想定していないのでは？
- ・ 具体的に想像できない。選択肢にあれば、「何とも言えない」と、選びたい。
- ・ 小学校高学年の段階の子が、中学の校舎に移っても小学校に行きやすい、小学校に居場所があるのは良い
- ・ 安全面が確保される
- ・ 耐久性耐震性が心配。志木二中の校舎、工事に耐えられるのかなあと。多額をかけてつなぎ、何年もつのか。
- ・ 思春期真只中の中学生には、小学生の存在が煩わしいのではないか。小学生が萎縮してしまうと思う。
- ・ 良い面もあると思いますが、思春期で難しい年頃の中学生と小学生の間でトラブルが起きないか心配
- ・ どのようにして凄惨ないじめや性犯罪が起きないように対策できるのか、問いたい
- ・ 小学生と中学生では発育が違いすぎる小学生が萎縮する。高学年の最高学年としての成長の機会が奪われる。
- ・ 校舎の渡り廊下が想像できない。小学生にとってはその移動距離が勿体無い気がします。
- ・ 築年数が古い校舎はいっそ建て替えたほうがよい。税金を投入し渡り廊下を付け足すのは長い目で見て疑問。
- ・ 最低学年と最高学年の歳が離れすぎ。上からすると下の子のお世話をしている暇はないのでは。
- ・ 廊下があれば行き来するという発想が謎。門から出入りすれば良い。校舎も古いのに税金の無駄遣いだと思う。
- ・ 広い人間関係が持ちやすいのはよい。設立当初から子供も激減しているため、統合で密度が増す点は納得する
- ・ 繋がり大切だと思うが予算をかけてまで渡り廊下に拘らなくて良いと思う。今後建て替えの際にやれば良い。
- ・ 良いことは多いと思うが、中学生からの小学生への性加害等の暴力や、良くない影響も身近にあるのが怖い
- ・ 区切りや進学の意識が低下しないか、関係者全ての切り替えができるのか不安。
- ・ 本とかスペースは大丈夫ですか？
- ・ 教室移動で子供の時間がとられるのではないな
- ・ 廊下で繋ぐだけで一つの学校にするのは無理がある。花火大会の橋で起きた事故のような事故が起きるリスク有
- ・ 渡り廊下を作る予算を学校の設備を整えることに使ったほうが、子ども達にとっても良い環境になるのでは？
- ・ 小学生高学年から中学生にかけて思春期を迎える子供の悪い影響が低学年を巻き込む心配がある
- ・ つなげるための工事の期間や、騒音など、学習の妨げになるから。
- ・ 工事期間中の学校活動に制限が出そう。渡り廊下が必要なのか疑問
- ・ 中学生になった姿を想像しやすい。
- ・ 意味がない
- ・ 集中できる環境を作るのが難しく、体格差などから中学生側が配慮しなければならない場面が多くなると感じる
- ・ もっと他にお金をかけるべきところがあると思う
- ・ 費用をかけて渡り廊下を作る必要はないと思います。
- ・ 学年ごとのイメージの差は少ない方が良いと思っているので少しでもふれあいがあった方が差が出ないと思う。
- ・ 現在案で出ているような渡り廊下が本当に必要なのか、よくわからないからです。
- ・ 中3と小1の同じ図書館だ一人当たりの本数が少なくなるのと、グラウンドは体力差で危ないこともある。
- ・ 小学校低学年への影響は不明。高学年なら、良い影響がでるかもしれない。
- ・ 渡り廊下という発想に理解が出来ない。
- ・ 渡り廊下は本当に必要でしょうか？
- ・ 一緒に触れ合うメリットをあまり感じられないため
- ・ 低学年からみたら、体格の大きい児童に対して怖さを感じているのに、中学生に親しみを感じるのか？
- ・ 学年に開きがありすぎる
- ・ 古い校舎に後付けて渡り廊下を付ける安全性への不安と、そこに大金を使う必要性と利点に疑問を感じます。
- ・ 校舎間を移動すればよいと思うので、渡り廊下を作ることにこだわらなくてよいのではと思います
- ・ 渡り廊下の強度は取れるのか？その予算を給食費等にまわしてほしい。
- ・ 異学年の関わりが増えることは良い刺激になると思うから。
- ・ 今の時代、小学生と中学生との交流の中には教師の目の行き届かない場面で事件性のある悪影響も生じうる。
- ・ 渡り廊下では行き来が面倒。一つの校舎に全員いないと普段の生活での交流は生まれないと思う。
- ・ 事件の低年齢化も目立ち、小学生の親としては中学生が怖い。また性的な問題も不安です。
- ・ 中学に入ってから先輩後輩意識が育たなくなあなあになる
- ・ 一年が六年でも大人に感じるのに中学生と一緒に生活は考えられない六年最高学年としての責任感が養われない
- ・ 渡り廊下で繋いだけで、交流が増えると言うのは安易だと思う。
- ・ 交流が広がる
- ・ なんとなく。特に理由なし
- ・ 小学生がまかせていきそう。(性の知識など早熟化)中学生の悪いところまで小学校高学年が真似してしまう。
- ・ 交流は良いと思うが、一番新しく園庭が広い四小を使わ無い事、渡り廊下？に疑問はある。
- ・ どれくらいの費用がかかるのか、他に市内でもっと直したり必要な場所があると思うので。

- ・ 現在、小学生本人が縦割り活動があまり好きではないため。
- ・ 既に中学生でも敬語が使えない子が多くなってきているのに、高校でいきなり上下関係に対応できるか心配
- ・ 渡り廊下はあくまでも廊下。校舎の一体感というPRは大変なミスリード。公費の無駄遣い。発案者を開示して
- ・ 予算の無駄遣い。工事中の騒音やら今の子達は変わらず学校生活を遅れるのか疑問。校庭も使用できるのか。
- ・ 1年と9年ではステージが違いすぎる。特に1年生は大きい生徒がいることで萎縮してしまいそう
- ・ 渡り廊下でつながなくとも校舎の行き来ができるのではないかとと思われる。
- ・ そのお金をもっと子供達のために使用してほしい。そんなに行き来する機会があるのか。
- ・ 渡り廊下はいりません。財政の無駄遣いです！
- ・ 市でだれが得をする案件なのか説明してほしい。透明性のある公共施設建設なのか？
- ・ Q6と同理由です
- ・ 小学生と中学生が気軽に接する機会を設けることのメリットを感じられない。反対に悪い影響も受けそう。
- ・ 体格や知識が上の学年の子の話ぶりなどに怖さを感じたり、ぶつかったら下の子が怪我をしたり、萎縮しうる。
- ・ 昔と違って核家族化しているので、学校で様々な年齢の人間と関われるのは子供にとって良いと思う。
- ・ 無駄な費用でしかなく、絶対にやめて欲しい。2小、2中の間に渡り廊下を作ればいい。他に費用は回して
- ・ 中学生と小学生の垣根を越える必要はなく、小学校のなかで学年を越えて交流を持てることに注力した方が良い
- ・ パルシティの再建に予算の関係で着工できない現状があるのに、それより先に渡り廊下を作る資金源がない
- ・ 志木第四小学校の校舎の方が、築年数が浅く、体育館の天井も高く、校庭も広いので、こちらを活かしてほしい
- ・ 成長段階の異なる1年生と9年生を無理やり一つの空間に押し込めると双方に遠慮や我慢が生まれると思うため
- ・ 門も目の前にあり、道路も通り抜けるものではないため必要性は感じないが、あってもいいと思う。
- ・ 小学生と中学生では体格が違いすぎ、廊下での衝突や喧嘩があった場合、大きな怪我に繋がる恐れがあるため
- ・ 渡り廊下にお金を掛けるより他の事に使用希望。交流はとても良いが中途半端になって教員の負担が増えそう
- ・ 交流の幅が広がるのは良いです。ただ頻度、時間の長さとも関係するからまだ何とも言えません。
- ・ 善良な生徒だけがいるとは思えないので閉鎖的な学校になってほしくない
- ・ 今のままで十分だと思う。
- ・ そもそも築50年と言う校舎を利用する事に異議あり。トイレや教室も古くエレベーターも無い。検討願う。
- ・ 中学生と小学生は体格差も精神的な成長の差も大きく、有意義な交流がどれだけ生まれるか不明。
- ・ 年齢差が大きいため、書かれてあるようなメリットはあまり期待出来ないように感じたため。
- ・ お金が掛かるだけで、必要ない。
- ・ 税金の無駄だから。その分の費用を、給食費や教材費の無償化などに使っていただきたい。
- ・ 通学班を見ても、低学年と高学年が豊かな交流をしているようには見えない。まして多感な中学生には難しい。
- ・ 特に低学年では、5・6年生ですら年齢差にギャップを感じて慣れずに過ごしています。記入文字数足りない
- ・ 距離がありすぎるし安全性が疑問。他の事に税金を使うべき。
- ・ 渡り廊下に税金を使うのではなく、別の有意義な事に対し、子供達に使って頂きたい。
- ・ 橋はいらない
- ・ 廊下ですれ違ったとしても声を掛け合うとは思えない
- ・ 小学生は萎縮するのでは？小、中間の交流はいじめなどリスクが大きそう。渡り廊下は地震に耐えられるのか？
- ・ そもそも子どもはそんなことは望んでいない。それぞれの年齢にあった関係性をまずは築いていくべき。
- ・ 渡り廊下が数年後に負の遺産になりそう。景観を損ねる。
- ・ 渡り廊下が必要なかが疑問に思う
- ・ 渡り廊下を作るならそのお金でエレベーターを作り、障害がある生徒も共に学べるようにしてほしい
- ・ 普段使う校舎が違うのであれば、渡り廊下でつながりだけで「一体的」とは到底思えない。
- ・ 高学年が優しく思いやりがある子なら問題ないが、威圧的、暴力的な生徒だった場合の悪影響は心配
- ・ 無理矢理な計画。工事中の生徒の安全は守れるのか。税金の無駄で、もっと他に税金を使うべき場所があるはず
- ・ 中学生はただでさえ休み時間が少なく、小学生と交流しようにもなかなか余裕がない。
- ・ 年齢の差により施設の利用目的が異なりそうだから。
- ・ 小1と中3では生活、身体面でも違いすぎるので同じ校舎では無理がある。
- ・ 無駄な費用。もっと他の事に利用すべき大切な税金。
- ・ 小学校低学年にとって中学生は大きく怖さもある。中学生による小学生への犯罪等起きないか不安。
- ・ 4小の校庭の広さも活用したい
- ・ 地方できちんとした中高一貫の施設を見た。やるなら古い校舎を繋ぐだけの応急処置みたいな対応はどうかと。
- ・ 渡り廊下を使っている期間に、生徒たちの勉学の邪魔にならぬような配慮は考えているのか不明である。受験生
- ・ 思春期の中学生に模範的な行動ばかりは期待できず、ネガティブな事象のフォローを教師が行えるか疑問
- ・ 中学生がいることで、小学生が行きにくい場所などが出てくる可能性がある。
- ・ 9年生が受験時期に受験とかをまだ理解していない子達と一緒にするのはどうなのかな？と思うので。
- ・ 幅広い学年と触れ合う事をメリットとするなら、校舎などの生活空間は共通であるべき。
- ・ たまたま二小と二小が隣接しているからというだけで、古くて狭い校舎に子供達を押し込む理由が分かりません
- ・ 廊下1本繋いで、交流できるとは思えない
- ・ 他学年とのつながりはメリットが多いと思うから。

- ・ 少人数学級に賛同し引越してきたのに、マンモス化となり逆行している。税金の無駄使いもありとても残念。
- ・ 耐震性はどうなのか？
- ・ 悪い先輩のマネをする危険が悪化する不安がある。悪行をなまなまで済ませない厳しさがセットで必要と思う。
- ・ 多学年と触れ合う機会が増えるのは良いことだと思うが、それに伴い生徒同士の関係性の複雑化が心配
- ・ 他の学年と関わり、学年が上になるにつれやれることが増え、自主的に行動し、責任を持てる環境だと思います
- ・ 現在の1～6年の交流でいい。
- ・ 渡り廊下があるから交流しやすいというのは、考えが浅すぎる気がします。
- ・ 図書室は一つにならないなら、図書の冊数が増えてよいと思う。
- ・ 中学生と小学生でそこまで交流が生まれないうし、生まれる必要もない。
- ・ 変えることでのメリットとデメリットが指し示されていないから
- ・ 6歳と15歳が気軽に話し合う関係になると思ってる時点で子供の実態を理解してないと思う。
- ・ それぞれの関わり合いが増えることで、お互い学べることもあると思う。
- ・ ふれあいが増えるのは良いと思うが、距離が長そうな渡り廊下の費用や安全に作れるかが心配。
- ・ 税金の無駄遣い
- ・ 実際はイメージされているような交流は起こり得ないと思うが、それでも環境設定としては悪くないと感じる。
- ・ 中学生は近寄りたイメージがあるので学校で触れ合う事で雰囲気は良くなりそう
- ・ 渡り廊下ごときでそんなに交流が得られると思わない。毎週異年齢交流できるようにすればいい。
- ・ 生徒数が少なれば他学年の交流があつていいと思いますが、あれだけ大人数なので、あまり意味を感じません
- ・ 古い校舎をガラス張りの渡り廊下を繋ぐことに安全性や金銭面で不安がある。
- ・ 閉鎖空間が緩和され、社会性が育まれそう。一方で、その社会に馴染めなかった際にリセットする道がない。
- ・ 他学年との交流というよりも、自分の意識の変化での成長が大切だと思うから。橋や交流は重要ではない。
- ・ 交流があるのは良いと思うから
- ・ 小学生の中学校への不安が減ったり、中学生も小学生の力になれば、良い効果が生まれそう。
- ・ 渡り廊下が無いと成り立たない施策はやるべきで無いです。本学区だけに貴重な税金を使うべきでは無いです。
- ・ 小学生と中学生の壁がなく、交流もでき良いと思う。
- ・ 実際に生徒が行き来するようになるかは分かりませんが、行き来しやすくなる状態になるのは良いと思う。
- ・ 渡り廊下の危険性に注目すべき。移動教室には時間がかかる。異年齢交流は、学校を一緒になくてもできる。
- ・ 体格差がありすぎる子どもとの交流はお互い気をつけることばかり増えてしまい、禁止事項や我慢が増える
- ・ 子供が嫌がっている
- ・ 異年齢交流は大事だと思う。上の子は下の子を思い、下の子は上の子から学べるため。
- ・ 耐震性が心配される校舎にさらに渡り廊下などをつけるのは事故がおきないか心配
- ・ 良いと思うが、これ以上、中学生の負担になるようなことはやめたほうがよいと思う。
- ・ 税金を大量に使って作るメリットがない。築年数も違う建物同士をつなげても耐震性にも疑問が残る。
- ・ 1年から9年まで、それぞれ歳が離れすぎて、気軽に話す、遊ぶことは無いと思う。
- ・ 中学3年生と小学1年生がそもそも同じ土俵で学ぶこと自体無理。本当に声掛けがあると思っているのか？
- ・ 小1と中3の発達の段階が大きく異なるので、運動場などで一緒に活動しても大丈夫なのか不安。
- ・ 正面玄関から行き来すれば良いと思う。車が危ないの理由であれば、職員の駐車は四小に停めるのは？
- ・ 小学校低学年と中学生では年齢も体格も言動も差があり、低学年からすると怖い思いをすることもあるのでは
- ・ 高額な税金が投入されると聞いたので、渡り廊下の重要性はあまり感じません。そこまで往来が見込めるのか…
- ・ 渡り廊下でつなぐのは、構造的に現実的ではない。
- ・ 工事の音も受験生からしたら迷惑だし、莫大なお金をかけて欲しくない。他に使う所があると思います。
- ・ 2小と2中は隣同士なのだから、校門で行き来したらいいのでは。
- ・ 短い休み時間に、校舎間に行き来する機会がありますか？移動教室の場合遠くなって、実質の休み時間が減る
- ・ 中学生は学習面に集中させて頂きたい。多忙中交流等無駄な時間は不要。小学生の安全面は確保されるのか。
- ・ 現在、他学年の生徒と気軽に声をかけ合うことなどない。義務教育学校になっても同じことだ
- ・ デメリットや懸念事項についてはどう議論されたのか知りたい。
- ・ 費用をかけて改装するより、学校の机や椅子、冷房設備等、日々の必要なものを揃えれ費用を優先してほしい
- ・ 中学は他学年フロアへの行き来が禁止なのに渡り廊下で繋がったら行き来自由？理由があり禁止なのでは？
- ・ どことどこをどうつなぐのかわかりませんが、必要ないと思います。費用がもったいないと感じます。
- ・ 廊下で繋がらずとも、高学年になったら二中の設備を利用できるシステムであれば済むのではないかと思います。
- ・ 人数が多すぎてかえってなかよしタイムのような縦割りも作りづらくなってしまう
- ・ 移動が楽だから
- ・ 中学ならではの先輩後輩関係が、小学生を含めるとまた変わると思うから。
- ・ 人数が増えるだけで、逆にメリットが感じられない。渡り廊下も無駄なお金をかけて作る必要はない。
- ・ お金かけすぎ
- ・ 日常的に過ごす教室が離れている分接点はあまり持たないのではないかと思います
- ・ 中学生と小学生はそこまで交流を持たなくても良いと思う。トラブルのもと。
- ・ 耐震面で不安を感じる。突貫的な連絡通路より、四小と二中を繋ぐ方法や新校舎の設置を考慮すべき。

- ・思春期の子どもが他の学年の子供に声をかけると思いますか？図書館は学年で分けないと集中できない。
- ・前問で答えた通り。自分の機嫌で生徒に対する態度が変わる先生がいると思うと賛成とは言えません。
- ・税金の無駄遣い。どちらの校舎も古いのに新しい渡り廊下をつける意味がわからない。
- ・渡り廊下の安全・耐震が不安
- ・先述のとおり、メリットの記載はあれど、デメリットの面が見えません。往復頻度の想定を知りたいです。
- ・小学生と一緒に校庭を使えばカー杯走れなかったり、全校での運動会は時間的にも場所的にも難しそうだから。
- ・お金の無駄、税金の無駄。絶対に反対！
- ・そもそも2小の老朽化があるなかでそこに費用をかける意味がわからない
- ・小学生と中学生では生活も違うので子供たちのストレスになると思う
- ・渡り廊下の有用性がわからない
- ・人数が増える事で、きめ細やかに子どもたち一人一人を見れなくなるから。
- ・外から渡るより移動しやすいため。その分の移動時間を別のことに活かせるように感じる。
- ・高学年の子供たちが手本となってくれば良いと考えます。
- ・2つの建物をつなぐ意図がわからない。耐震が不安。ニュータウン側から入れないから不便。
- ・子は積極的に他学年の子供と交流をしたいと思っていない。校舎が減ることで施設の利用頻度が減るのが心配
- ・15歳と6歳は関わり合う必要がないと思う。
- ・危険。散財。四小が勿体無い。
- ・小1と中3では体格差や動きが全く違うので危険もあると思うから、小学生、中学生の使用空間分けて欲しい。
- ・渡り廊下を作るお金があるなら、別の子どもも支援施策をしたほうが良いのではないと思う。
- ・関わりが増えるのは良いことだが、小中一貫にせず、小学校と中学校の交流の機会を増やすのみで良い。
- ・渡り廊下は膨大な費用がかかるそうで、本当に子ども達にとって必要なのか、再度検討していただきたいです。
- ・渡り廊下を作ってまで、小中一貫を推める意図がわからない。
- ・馴染む部分を考えるならよいのかなと思います。
- ・無駄
- ・そんなことをしなくても交流の仕方はあると思うので、お金をかけずに工夫をした方がよいと思います。
- ・税金の無駄遣いだと思う
- ・1年生と9年生では歳の差が大きく離れているため
- ・異年齢で関わるのに9学年は多すぎると思う。
- ・安全性。開校をいそぐあまり、手抜き工事にならないか？災害が起きた時落下しないか？景観も悪くなる。
- ・渡り廊下ご危ない。耐震的にどうなのか？
- ・渡り廊下を付けなくても、近いので行き来はラクにできるのでは？
- ・無駄な税金。この地区にだけ不公平。試験的に便利なこの地区から始めるのだと思うが犠牲になりたくない
- ・その予算を専門知識のある講師など人材に充て、生徒たちに直接的に有益であってほしい。
- ・中学生は小学生にお手本を示せるようになり、小学生は中学生になったときの自分がイメージしやすくなるから
- ・年齢の幅が大きすぎるように感じる。中高ならある程度、物事を理解できる年齢だが、小1は幼稚園と一緒に。
- ・高額な建設費は不要
- ・そこまで交流はなさそう
- ・学年の幅が大きすぎて合わないと思う。そして全員が良い子だけではないと思うので少し心配です。
- ・やはり一つの校舎になることにより、先生や子供達の利便性が一段とあがるため！
- ・小学生と中学生は体格にも大きな差があり、小学生が怖い思いをしたり、ぶつかった場合など怪我に繋がる。
- ・自分が子どもの時を考えると小学生が中学生に話しかけることが考えられなくてイジメ等の問題になるのでは
- ・費用がかかり過ぎる割に、メリットが感じられない。地上に雨除けの屋根を設けた通路を設置した方が良い。
- ・税金の無駄遣い
- ・まっとうなことと思う。
- ・渡り廊下一つで一体的と言えるのか。そんなに行き来するのか。図書室は1つになってしまうのか。
- ・いい影響もあると思うが悪い方に影響される子も増えそう
- ・そのことに対して、他のデメリットを上回る魅力を特に感じない
- ・子ども達の交流は良いが渡り廊下を作るために膨大な費用がかかると聞いたので、作らなくても良いと思う。
- ・税金の無駄。2小と4小はひとつにまとめてもいいと思うが、2小と2中を行き来する必要なし。
- ・上級生が下級生をいじめる。行き来できる為、逃げ場がなくなる。古い校舎に橋をかけて耐震性など安全面は？
- ・現実的に、小さい子にとって中学生くらいの子は近寄りがたい。むしろ小さい子にとってストレスになるのでは
- ・耐震強度も違う校舎を大金をかけて繋ぐ意味がわからない。
- ・渡り廊下に経費をかける必要はない。渡り廊下がなくても歩ける。屋根が必要？ 悪天候時は臨機応変に対応を
- ・体の大きさも活動内容も違う。事故が起こらないかと不安。外での部活などどうするのか？
- ・大きくなった子供が小さい子供いじめていても、気付かない可能性があり、大きな事件に発展する可能性もある
- ・何のメリットがあるかわからない
- ・地震怖い。校舎が近い事が合併理由なら、徒歩移動でいい。後々やはり必要性があれば計画すればいいのでは？
- ・非常に落ち着かない。コストがかかる。

- ・体制を大きく変化させてまで、6歳から15歳まで同じ環境で交流する必要性がわかりません。
- ・シームレスに繋がる校舎でなければ9年間通すという意義に反し意味をなさない。
- ・渡り廊下を造る莫大な費用を、今いる子どもたちの環境にも還元してほしいです。
- ・コスト削減の最適解。綺麗事を並べていないで市民にも正直に説明するべき。
- ・渡り廊下を高額の費用を用いて作る理由が全く理解できません。この案を最初に作成した方は誰ですか。
- ・とても良いと思う
- ・渡り廊下で繋いでも、“向こうの校舎は高学年が怖くて行けないし迷子になる”などで結局行かなさそうだから
- ・渡り廊下でつないでも、結局使用する校舎は別なので、特別交流が増えるとは思えない。
- ・わざわざ廊下を新設する意味がない。予算はいくらか提示して欲しい。行き来する機会も限定されると思う。
- ・渡り廊下の予算があるなら、他のことに使って欲しい。宗岡地区は同じようにできず、不平等。

Q 志木の森学園(義務教育学校)では、小学校と中学校の先生がひとつの学校の先生となるため、全ての先生が自分の学校の子供として1年生から9年生までの相談に乗り、支援します。児童生徒からも小・中学校の先生の区別なく、9年間を通してたくさんの先生と話をしたり、関わりを持ったりすることができます。このことについてどう思いますか。(1つ)

【自由記述】

- ・子どもを権利主体として認め、規律やスタンダードへ適合させよう管理しようとしたりするのをやめるのが先。
- ・義務教育学校関係なく、自分の学校の子供であることに変わりない。義務教育学校だけそう考えるものではない
- ・理想論であって現実には先生方に余裕がなくなり、しわ寄せが行くのは子供たちなことは目に見えています。
- ・これまでは小中で温度差や独自のルールがあり、子供がそれらに慣れる必要があったため
- ・実際、相談をどの先生にも出来ないと思う。今でさえ担任の先生だけに関わっている感じなので。
- ・教師と生徒それぞれの数が増えても、教師と生徒の関係性が希薄になるとしか思えません。
- ・教員の数減らす感の見え隠れする内容で多くの教員と接すると矛盾している内容だから
- ・小学低学年教諭と中学校教諭では専門性が違う。実態にあった質問をすべき。
- ・本当にそうなるのか疑問。
- ・共通理解は計り易くなると思われるが、申し送りに時間をとられそうだから
- ・先生の異動はないですか？
- ・子どもの性格にもよると思う。教員の数が増えたからと言って深く関わりのない先生に相談しないとおもう
- ・多くの先生と関わり合うことで、相性の良い先生と出会える機会が増えることが期待できるので。
- ・子どもたちの相談窓口が増え、先生方の負担軽減にもなると感じるからです。
- ・もっと違う方法があると思います。作っただけでは効果は得られないです。
- ・先生方の負担がおおきい。今まで中学生しか教えたいなかった先生が小学生向けに指導出来るのかがわからない
- ・前述どおり、担任のせいによる不登校もあり得るから
- ・先生のレベルによって差ができると思う。担任をベテランと若い先生の二人体制にすればよいのでは？
- ・教師の負担が多くなるのでは
- ・今のままが良い
- ・子供たちにとっては相談できる大人が増えるので良いと思います。
- ・先生不足をカバーできそうであれば。子供第一で考えてくれそう
- ・小学教員と中学教師では対応する相手が違いすぎます。前記同様デメリットと対応策の説明がありません。
- ・それぞれの先生が別の学校にいるから良いときもある。これをメリットにするのは弱いと思う。
- ・必要性を感じられない今のままで何が問題か
- ・先生方が1年から9年生まで全員と触れ合うとは少し無理がある気がする。
- ・無理があると思います。
- ・関わりを持つ事は良い事とは思うが、小学校と中学校でそれぞれやっていた先生が突然一貫と言われても不安。
- ・現実には、教員側が無理だと思う
- ・学習について関わることは良いと思います。
- ・状況はいいと思うから。生徒数に比して職員数を維持、増やしてほしいと思います。
- ・先生がそんなに多くの学年と普段から関わられますかね
- ・小1の悩みと中3の悩みは全く違うので意味がない。逆に誰に相談すれば的確な答えが貰えるかわかりにくい。
- ・継続的な支援が可能
- ・これまでも児童が、幅広い学年の先生と積極的にかかわったという話を聞いたことがない。胡散臭い。
- ・学年の広がりがあっても、機会がなければ、関わることはありません。
- ・色々な意味で偏りが出ると思う
- ・中学の先生は部活の顧問などもやられて、休みがない印象で、そこにさらに負担が増える印象があるからです
- ・少人数制のクラスで授業をする方が子供1人1人に先生の目が行き届く。教職員は10年までしかいられない。
- ・先生が名前と顔と子どもの普段の様子を覚えて初めて中身のある対応ができると思うが、あまりにも大人数。
- ・先生方への精神的、肉体的負担が増えるだけ。男性、女性教師が働き子育てなど生活しやすい環境とは思えない
- ・我が子を見守る職員が増えるのは安心につながると思う。

- ・管理職の責任が重くなり対応しきれない可能性があるから
- ・子供にしてみれば先生がいっぱい居てもどの先生に何を話していいかわかりづらく、関わり方に不安がある？
- ・小中両方の教員免許を持っていない場合はどうするのか知りたいです。
- ・生徒の把握する人数がふえる為、先生の負担が多くなるのではないかと又見落とされる生徒もいるのではないかと。
- ・私立ではないのに公立教師がずっと同じ？入れ替わりがあるのであれば9年間見守るのは無理なのでは？
- ・先生方が今まで以上に生徒たちを見ることになって負担も大きい気がする。
- ・知っているお母さんが働いていてやりづらく、プライバシーがない地域じゃない先生にして欲しい。
- ・小中の情報連携がしっかりすればいいだけで校舎をつなげる強い理由になりえない。先生の負担の懸念もある
- ・相談できる先生が多くなることは良いと思う。
- ・中学の先生が小学生も対応するのはいいと思う。小学校の先生よりよくわかってるので。
- ・学校全体の児童数と職員数が増えれば、先生の目が行き届かなくなるから。実際に幼稚園でもそれを感じるから
- ・小学校から中学校になる際の、環境の変化が少ないから
- ・9学年を全部カバーするとしたら、児童の発達にあわせてきめ細やかな対応が今より難しくなるはずだ。
- ・9年生分の子どもの把握ができるのか。小学校、中学校というくくりがある方が生徒たちと密に関われると思う
- ・たくさんの方が関わるのは良いと思いますが、渡り廊下は不要です。
- ・今の状況で問題ないと思います。反対に先生の仕事が増えてしまうので、働き方改革に逆行していると思います
- ・生徒、先生も人数が増えることで、まとめられるのか
- ・成長には多様な大人との関わりが必要だと思うから。
- ・教員が全員中学校を教えられるレベルにならないといけなく、負担が増えてしまうのではないかと。
- ・ただ、実際にそうなって、先生は対応できますか？
- ・不可能だと思う。マンモス学校になり、逆に児童を覚えづらくなる。
- ・先生方の負担増。生徒達も先生が増えて覚えられないのでは。相談したい先生が異動したらあまり意味ない。
- ・先生の転出移動が多いから9年を通して見れるとは思わない。
- ・教職員の負担が増えるだけであり、人数が増えれば名前と顔を一致させて覚えることは、より大変になる。
- ・義務教育学校の教員としての研修プログラムがあるのか不明。オールマイティな教員育成が出来るのか疑問。
- ・今の先生は忙しく、9学年全体を見られるような余力があるとは思えません
- ・現在の6・3年間でも関わらない先生はたくさんいるので特にメリットに感じない。
- ・生徒・先生の両方が大勢いることへの負担増にも繋がるのでは。全てを共有するのに人数が多すぎでは？
- ・色々な先生と関わる事も大事だが、低学年、高学年に合った先生が担当する方が安心ではないかと
- ・教師の負担が大き過ぎて平等な教育が期待出来ない
- ・今でも行き届いてないと感じると子供が言っています。かえって、目が行き届きにくなるのでは？
- ・前述もしましたが、今まで自分のことをよく分かってきている先生がいることは子供にとって心強いはず？
- ・中学教師が小学校先生みたいにやわらかく話せるか不安があるから
- ・広く薄くなり今までと同じレベルで手厚くは見てもらえない。交流はある方が良いが日常的な関わりは不要。
- ・一人の先生の固定観念で指導されそうだから
- ・規模が小さければよいと思う。先生は把握する子どもの絶対数が増えるから、1人1人にかけられる力は減る
- ・良いとも悪いとも思わない。多くの先生と交流機会があったとしても実際に関わり続けるのは一部だと思われる
- ・来年も担任してほしい！と思う先生と二度と関わりたくない先生もいる先生も負担が増えそう
- ・名前と顔などどれだけ覚えられるのか、先生個人のキャパにも限界があるのでは。
- ・小学生から中学生で環境をリセットしたいと思う子にとって9年間は長い。デメリットにも目を向けるべき。
- ・やりたければ直ぐに実行すれば良い学校は隣り合わせなのだから渡り廊下を作らなくてもできますよね？
- ・義務～になったからといって、他の先生からの支援や関わりが増えるのか疑問。今すぐにもやって欲しい。
- ・現状でもできていない中、範囲を広くするのは不可能。少人数の方がスムーズにできる。
- ・良いと思うが、個性のある子や問題のある子以外は埋もれてしまう気もします。
- ・先生の負担がありすぎるのでは。
- ・先生が沢山いれば沢山関わるという発想が謎。一見問題ない生徒には目が届かなくなるのではないかと。
- ・交流には期待する。教員の負担による悪影響は心配なため法定配置人数を満たすに留まらぬ余裕をもって欲しい
- ・1年生の時の教員が9年生になった時までフォローが出来る。愛着のある大人が1人でも多くいることは良い。
- ・教員同志の協力体制ができることはいい点だが、子どもへの評価など、安易に引き継いで鵜呑みにすべきでない
- ・小学生と中学生では、先生に求められる対応（接し方等）が異なると思う。
- ・今のままでいいと思う。
- ・教員一人当たりが見る児童人数が増えるのであれば本末転倒だから。管理職も同じ。
- ・いままでも、名前と顔が一致しない、話したことがない先生が大半だったのに、増えたら逆効果。
- ・先生は移動するので、ほとんどの先生は9年間見続けられないため。実状に沿っていない。
- ・同じレベルの子供を見るわけではないから先生の負担が大きすぎて結局、偏った教育に成りかねない。
- ・具体的な方策がわからないため
- ・先生の異動が多い県立の学校だと、それができるのか疑問
- ・担任の先生が一人の子供について把握が難しくなることがある希薄になりませんか

- ・ 本当にそれが実践されるなら良いことだと思う。学校で起こる問題等が見逃されないのであればなお良いと思う
- ・ 小学生と中学生では部活動等で上の学年との関わり合いが異なっており、小6と中1では見る景色が違っている
- ・ 先生方の負担になると思う。
- ・ 多くの先生がかかわるより、生徒からみて信頼できる先生がいることが大切かと思います。
- ・ 知っている先生の方が子ども達も親も安心感があると思う。
- ・ その利点が分からない。
- ・ 小・中学校と区切ったほうが、目がいき届くと思います。
- ・ 先生は働き方改革で時間数へらしているのだから、大人数みられないのでは？
- ・ 小学校、中学生それぞれに接し方、教え方が違うと思う。先生達がどのようにするのか具体的に想像できない
- ・ 小学生と中学生の年齢では相談内容は格段に変わり、なんでも一貫してとはいかないと思うから。
- ・ 自分の学校の子供として、の前に自分のクラスの子供を先ずは大切にしたい。
- ・ 良いと思うが先生の負担が増えるため品質低下にもつながる心配もある。
- ・ 今までより人数が増えれば、先生方を覚えるのが大変。
- ・ 中学の先生の言葉遣いが荒すぎる。小学1年生の耳にもはいる。いい環境とは言えない。
- ・ たくさんの先生がいっしょやることで、広く浅くの顔見知りが増え、心を許しにくくなりそうです。
- ・ 9年間みてもらえるのであれば良いが、公立校では人事異動もあり現実には難しいのではないかな？
- ・ 教職員数の増加が子どもの精神面にプラスに働くかは正直疑問。
- ・ 小学校教師と中学校教師は素質的なもの、児童生徒へ対する向き合い方が全く違うと思う。
- ・ 先生の異動があるので、9年間という期間ずっと同じ先生が居るとは思えない。
- ・ 人数が増えた分先生は生徒の把握が大変になると思う
- ・ 小学校の時不登校になった子は切り替えが出来なくなる。色々な先生と関わりをもつから成長すると思う
- ・ 小学校低学年と中学生では、問題やその対処の仕方かなり違い、先生方はそれをどう切り替えて接して下さる
- ・ いろいろな先生と親しくなれる
- ・ 冷静かつ、公平な評価を下して来れなさそう。嫌いな先生がずっといると思うと学校に行きたくないかも
- ・ 小学校で関係がうまくいかなかった先生とその後離れられず、先生側からその生徒への評価も変わらないから
- ・ 良い先生に当たれば見守ってくれる安心感はあるが、公立なので9年間では結局異動されてるのでは？
- ・ 合う先生がいたら良いと思う。ただ高校になって環境の変化に対応できるか心配
- ・ 今ですら余裕なく疲弊する先生の姿を見ている。先生はロボットじゃない。現場を知らない理想論だと思う。
- ・ 小学生と中学生の悩みは違うと思う。
- ・ 子どもが話す先生は限られている。多い人数の子どもより、目の前の学級の子どもの目を向けてほしい
- ・ 小学生と中学生では対応スキルが異なると思うので先生・子ども双方にデメリットが大きいように感じる。
- ・ 理想としてはよいが、千人を超える人数を本当に見れるのか。
- ・ 素晴らしい先生に負担をかけないで欲しい
- ・ 中学生しか指導していない教員が小学校低学年の指導ができると思わない。垣根を超える指導を希望していない
- ・ 広く浅くでは子供には負担だけ。担任の先生として長い時間関わって頂ける方が良い。
- ・ 子供が関わる先生の選択肢が広がるのは良いこと。先生にも得意不得意もあるので、活かして関わって欲しい。
- ・ 今も隣り合っていて中学生はいつでも2小の職員室に行ける。小学生が中学の教員に相談する場面は考えにくい
- ・ そんなに多くの生徒を先生が把握できるか疑問
- ・ 中学教員ですが、今小学校一年生に指導することは到底できないと感じます。発達段階に応じる指導が必要かと
- ・ 教師が継続で見るとのことですが、移動せずに9年同一校で勤務される教師がどの程度いらっしゃるのか不明
- ・ 先生の負荷が増えないことが前提で良いと思う。
- ・ 先生が大変で運用が回らなくなり、結果として生徒一人一人に対してのケアが薄くなってしまう恐れがある
- ・ 実現すれば良いと思うが交流に時間を割くことで教員負担が増えなければ良いと思う。採点や各種作業を分業化
- ・ 経験したことがないから、わからないが、多くの先生に出会えることは良いことです。
- ・ 教員数が減ったら相談したくても相談できなくなりそうだと思う
- ・ 現時点でも相談に乗ってなく支援出来てないので無理だと思う
- ・ 現状でもしっかり交流を持てば出来ると思う。敢えて狭い空間に押し込まなくても良いと思う。
- ・ 色々な先生方と交流できる？子供が相談しやすいとは思わない。接点が多くなければ相談しようと動けない。
- ・ 小学校低学年と中学生では年の差がありすぎるのでそれぞれの気持ちや体力に合わせて先生を分けたほうが良い
- ・ 先生方の負担が増えるから。
- ・ 年齢の幅が広すぎて、先生方が培った小中それぞれにおける経験値がうまく生かせないのではないかな。
- ・ 安易に「全て」と明言することは避けた方が良いかと。現実的に不可能では。
- ・ 教員全員が小学校教員、中学校教員の？両方の免許を持っているのですか？
- ・ 先生・生徒間の幅が広すぎて、そもそも他の学年の先生に相談すること自体、子供達からしたら現実的ではない
- ・ 生徒が増えれば、把握できない生徒も増えるので、利点は少ない
- ・ 先生1人に対して受け持つ児童数が多くなるので1人ひとりを丁寧に見ないと思うから。
- ・ 大きなメリットも考えられない
- ・ 先生の負担増になると思います。

- ・生徒の人数が多すぎて、ひとりひとりを把握できないだろうと思うから。
- ・大規模な学校になれば、個人が埋もれてしまう。先生も幅広い年齢に対応するのは大変すぎる。
- ・その方針は悪くないのですが、もっと小規模なら機能すると思います。実現なさそうな未来しか見えません
- ・生徒数が多くて先生も把握しきれないのではないかと。体育館の使用や行事なども、どうなるのか不安な事が多い
- ・広く浅くの関係にならないかと不安もあります。
- ・義務教育学校にどうしてこだわるのか分からない。子どもたちの意見を大切にしてほしい。
- ・9年間同じ先生が在籍している訳ではないので、あまり効果的には思えない
- ・実際にはそのような機会が作れないと思う。生徒の数も相当数なので。
- ・教員が疲弊してしまうと思う。
- ・人数が多すぎて生徒を覚えられない。関係が薄くなる。
- ・現実、担任以外と関わることはかなり少なく学年差があればあるほど、相談する程の関係は築きにくいと思う。
- ・その考え方は先生方の負担になると考えます。
- ・私学のように職員の異動が少なく在学中同じ先生がいれば良いと思うが。
- ・うちの子は担任の先生にも打ち解けるのに時間が掛かる。人見知りの子にとっては試練になると思う。
- ・忙しい先生たちが他学年を気にかけるような事ができるようには思えない。
- ・実際にこの取り組みが行えるのなら良いと思います。
- ・教員資格が別れている以上、必要な技能が違うため。中学校教諭に低学年のケアを強いるのは負担、など
- ・生徒が相談しやすい先生を選ぶことができる反面、生徒が増える為、先生が一人一人を細かく見れるのか心配
- ・教員が減る状況の中、増える生徒にきちんと対応する事は難しい。9年間も人間関係が固定されてしまう不安。
- ・教員それぞれ学んできたことが違いすぎる。低学年の生活ベースの見守りや指導を中学教員は担えないと思う。
- ・先生方や友人様々な観点からアドバイスをもらえるのは良いと思う
- ・マンモス化により目が行き届かなくなるのでは？ネガティブな要因が提示されておらず不信感しかない。
- ・小学生と中学生の教育の仕方が違うので、わざわざ一緒にして育てようとするのが無理がある。
- ・教師にとって関わり続ける期間が増えるのは負担では？また、子供にも、より多い大人と対話する方が有用では
- ・生徒も教師も人間なので、相性の合う合わないがやはりあると思う。そこで選択肢が増えるのは良い事だと思う
- ・複数人の先生では生徒個人との関係性が薄れてしまい、大まかにでも区切った方が寄り添えるような気がします
- ・先生への負担は多く、余裕がなくなるので子供たちから相談はしやすいかんきではない。
- ・色々な先生と交流出来るのはいいが中学生のテスト期間は入れないなど今より距離が出来ることもあるのでは？
- ・教職員がそこまで広い年代に対応するのは負担が大きいのでは？
- ・中学校の先生が6歳の一年生を理解できませんよ。仕事は適材適所です。教師は神様ではありません。
- ・良い面もあるが先生の負担が大きくなりませんか。フォロー必要
- ・悪いとは思わないが、大きなメリットがあるように感じない
- ・小1と中3では生徒に対する接し方も全く変わってくると思う。先生の割り振り方は要検討して欲しい。
- ・9年間の間にどうせ異動しますよね？
- ・教職員の異動もあるため、9年間同じ職員集団に見てもらえることはないと思う。それでも現状よりは良い。
- ・絶対無理があるだろう。理想はいいとして現実無理だ
- ・担当がないということは、何かあった時にいくらでも責任逃れできます。
- ・小1から中3まで対応することは教師の負担が大きいのではないかと。子供達はそれを要望するか不明。
- ・良いことも多いと思うが、反りが合わない先生と関係が切れない懸念はある。
- ・私自身は、小学校と中学校で生徒や教員のメンバーが変わったことが救いになった経験があるから。
- ・小学生と中学生では先生が気をつけて見なきゃいけない点の違いすぎて、先生が小中掛け持ちは無理だと感じる
- ・支援できるのが理想だが、実際は担当のクラスの児童を見ることで精一杯なのではないかと思う。
- ・沢山の先生と触れ合えるのはいいが、先生は移動が多いので信頼できる先生と長く関わるのは難しいのでは。
- ・先生方の負担が増えるからです。まずは担当学年をきめ細かく面倒みて頂くことを優先してほしいです。
- ・関わる先生の数に違いが出るのかは運用次第な気がしますが、まあ良いと思う。
- ・中学3年間の教材研究だけでも大変だった。発達段階が違いすぎるため、中学教育のプロから遠がかる。
- ・小学校の先生さえ同じ学年でも足並みが揃っていないのに9学年どのようにまとめるのか理解出来ない
- ・子供が嫌がっている
- ・先生が手が回りますか、心配です。
- ・特にメリットを感じない
- ・幼い頃の先生と別れがないのは良いし、心強い。
- ・たくさん生徒がいるので、逆に目が届かないと思う。
- ・小学1年から中学3年と年齢幅が広すぎる。それぞれの学年で適していると先生がいると思うから。
- ・そもそも理想。先生のも負担が掛かるし、今どきの先生には到底無理。
- ・実際には知っている担任や先生と話すことが多いので、そこまで先生の選択肢が増えるのかなとは思う。
- ・良いとは思いますが、渡り廊下作らないと不可能なのであれば今のままでよい。それより給食を一品増やしてほしい
- ・安心感はあるが、実際生徒数が莫大に増え生徒を把握できるのか心配。
- ・1人の教師が小中の授業が出来るのは理想だが、実現可能なのか、スキルや人材面で不安がある。

- ・先にも書いたが、児童数が多すぎて、目が届かないと思う。
- ・中学生は中学生で思春期色々難しい年頃であり良い影響を受けるとは限らない。
- ・良いと思うが、先生方の負担が増えるのではないかな。
- ・結局は各先生が属する学年、担任の受け持ちは変わらない。広く見ようとすると、先生の負担が増える。
- ・向き不向きがある。教員に負担をかける先々が容易に想像できる。ここは過疎地の学校等ではなく必要がない。
- ・現実的ではないのでは？それにQ5と内容ほぼ同じQ6も参照してください
- ・メリットもデメリットもわからない。どの先生も全学年のプロフェッショナルとして対応が可能か不安
- ・先生方も理解してない中で、イメージがわかりません。
- ・先生にそんな時間ありますか？全校生徒をみなくていいので、受け持った生徒に全力投球して欲しいです。
- ・子どもを見守る目は多い方が良いと思うから
- ・先生方の負担が大きく、そこまで目が行き届かないと思います。
- ・現状でも先生による教育の質に差があるのに、(6年まで)集団の母数が増えたら、先生はどう対応しますか。
- ・中学の先生がいきなり小1は見れない小6が中学のように窮屈になりそう
- ・相談出来る先生が多いから
- ・先生の負担が大きく、低学年時に必要なきめ細かな指導が行き渡らなくなると思うから。
- ・低学年にとって、教員の人数が多いことが負担に感じられるのではないかな
- ・生徒に対して、先生の人数が減るはずなので、あまり良いと思わない。
- ・逃げ場がない
- ・小学校教員と中学校教員が受けてきている教育や経験が違う為、様々な不都合が生じるのではないかな。
- ・無理がある 先生の負担が大きい 中学の先生は、小学生の面倒までみる感じの先生ばかりではない不向き。
- ・全員で見るという考えは、とてもよいと思うが、児童数が多いので、把握できるのか。
- ・職員の負担が増え、クラスの生徒をしっかり見ることが疎かになりそう。
- ・先生は全ての子供と顔把握できますか？知らない先生に子どもが相談に行きますか？理解に苦しみます。
- ・君より小学生の方がよくできると発言したそう。小学生に関わらず中学生にもかかわってほしくないです。
- ・現状でも生徒と教師の温度差を感じているのにより良くなるとは思えない。
- ・全てが異なる教員の環境よりも、特に特性を持つ児童であれば尚更理解してくれている教員がいることは心強い
- ・埼玉県ではどの先生も最長7年間しか同じ学校に勤務できないと聞いたので先生は9年間見られない。無責任。
- ・小学生と中学生では、先生たちがみるべきところが違うから
- ・関わる人が多過ぎると関係が希薄になる
- ・小学生と中学生は授業時間も違いますし、勉強に対する考え方や姿勢も違うので一緒にすることは不可能。
- ・学習面や悩み事など継続的なサポートを期待できるから。
- ・先生とも人と人とのつながりですので、色々な先生方と接していけるのは良いと思います。
- ・先生が名前と顔を一致させることが難しいはず。児童も同じ。それでは密なコミュニケーションははかれない。
- ・記述可能な文字数が少なく、理由が入力できません
- ・先生たちも異動したり退職したりがあるし、ずっと9年いるわけではないので。
- ・先生の負担。今ですら出来ていないのに。教育委員の人たちが1年間今の学校で働いてみれば良いと思う
- ・たくさんの人と関わることはいい事だと思うが、生徒数が多いので広く浅くにならないといいと思う
- ・前期、後期課程で分かれることになるので、書いてあるような理想形にはならないと思う。
- ・一貫にしなくても小学校、中学校で多くの先生に出会える。
- ・小中学校の両方の免許を持つ教員の確保が難しいと思うし、年齢が上がれば先生との関わり合いも減ると思う
- ・高学年にはよいと思いますが、低学年は自分で判断や意見できない部分があるので活用できるのか疑問
- ・人数が増え、一人ひとりのことを把握することが難しくなるのではないかなと思う。
- ・校長先生や教頭先生の負担が大きくなるため労働時間やより良くするための余力がなくなると思うため
- ・同じ評価になりそう。先生も人間なので好き嫌いで判断され、逃げ場がなさそう
- ・無理があると思う
- ・深く関わる事ができる人数は限られていると思う。
- ・先生方とたくさん関わりが持てるのであれば、今も授業の補講などお願いしたい。
- ・物理的にむりでしょう。ただでさえ多忙な教員のことを考えると無理。都合の良い嘘つかないでください。
- ・良い取り組みだと思うが、先生の負担が増えるのではないかと心配です。
- ・そんなにたくさん見きれぬのか不安です。
- ・多くの先生と関わることは子供にとっての成長となる
- ・子どものパーソナルや学習についてなどを引き継いでいくのは良いことかと思いました。
- ・そこまで意識が高い先生がいればいいが、現実には自分の学年、自分のクラスの子どもたちのことで精一杯では
- ・小学校から中学校へ進学する際の切れ目のない教育が実現できそうだから。
- ・良い悪いではない。全ての先生が全ての学年の子の相談支援を1300人の大規模校で出来るのか疑問。
- ・名前もろくに覚えられないと思う。覚えてくれない先生に相談などしないはず。
- ・先生は対応しなければならぬ子が増える。みんなで見れば良いということではない一人一人に寄り添えるのか
- ・全体を見ることも大切だが年齢により対応が変わって来る場合もあり、それぞれに特化した教員も必要だと思う

- ・中学生と小学生では教育や生活目的が異なるため、それぞれ専門性を高めた先生が見るべき。
- ・先生の負担が大ききように思う
- ・1クラスの生徒の名前を覚えるだけでも大変なのに沢山の生徒の相談に乗って把握する事が出来るのか疑問。
- ・『全ての先生が全ての学年をみる』が抽象的すぎて判断不可。何の意識調査してるのか不明。
- ・生徒数が増えすぎて一年生から九年生まで関わるのは難しいと思う。理想論すぎて現実味が全くない。
- ・発達段階が違う。子どもたちの発達に合わせた関わりができるのか心配。
- ・生徒数が増えることで、逆に先生たちに覚えて貰えない。関係が希薄になりそう。
- ・結局関われないため
- ・転勤でいなくなれば、9年いてくる先生などほばいないから
- ・先生も子供を覚えきれないのでは？現状も担任しか関わりがないので、理想論すぎると感じる。先生は移動もある。
- ・児童生徒の人数が多く教員は把握しきれない。教員は異動もあり実際には9年間を通した見守りにはならない
- ・前項同様、区切りが設けられること自体に問題がありここをクリアできなければやる意味はない
- ・小一と中三ではまったく異なるので、9年間通してというのは逆に息苦しいと思うからです。
- ・先生たちの負担軽減を進めない限り子供と向き合う時間は取れないでしょう。
- ・学年の区別なく生徒を見るのは物理的に不可能です。少数の先生が責任を持って見ていただける現状で満足です
- ・担任は大事だが、他の先生と関わりを持つのも良いと思うから。固執しなくて良いと思う。
- ・現在の段階で教員の忙しさや心が余裕がなければ、1～9年生全てのサポートは絶対無理だと思う。
- ・子供達の生活や成長に多くの先生や大人が関心を持つことは良い事だから
- ・実際、別の学年の先生には相談し辛い、出来ないと思う。相談出来る別の先生が複数名必要だと思う。
- ・小・中学の生徒の対応に、同じ様に接するメリット無し。子供の成長に合わせて、接する先生も変えるべき。

Q 志木の森学園(義務教育学校)では、1年生から9年生がひとつの学校として、一体的な校舎で学校生活をするため、お互いがどのように生活しているのかを自然に知ることができます。例えば、小学生のうちから部活動の様子を身近で見たり、体験的に参加したりすることも可能となります。
このことについてどう思いますか。(1つ)

【自由記述】

- ・部活動がそんなに重要とは思わない。
- ・部活動を見る余裕がない先生が多くいる中小学生の体験までサポートするのは教員の負担増になる。
- ・交流を深めるのは義務教育学校でなくともできるはず。
- ・年上への憧れや将来のイメージが湧きやすい
- ・そもそもこの設問設定が誘導尋問になっており、フェアでは無いと思います。
- ・別に9年生にしなくても知ることができるから
- ・体験自体は良いと思いますが、校舎を一体化しなくてもできることです。
- ・良くないことではないが、メリットとして弱い。
- ・校舎が別れているのであまり意味がないですね。私は学校を更地にして一つの校舎にしようと思っていたので
- ・習い事で十分です。
- ・見通しを持って生活が送れると学校生活に対する不安軽減に繋がるからです。
- ・今でも見えているし、必要なら交流イベントを増やせばいいだけ。
- ・小学生から色々な部活を知り、やりたい事を早く見つけられそう
- ・部活動を縮小化する動きがある中、アピールポイントとは言えないと思います。
- ・小学生が中学生の良いところだけではなく、嫌な部分を見てしまうので、良いとは思えない。
- ・必要性がない
- ・必要ない
- ・現行の制度でも可能と認識しています。この施策でないと不可能である理由がわかりません。
- ・現状でも可能だと思います。
- ・項目の回答としては良いが、形態を変えなくても同じことができるはず
- ・部活動の縮小(あまりにも短すぎる活動時間)や外部委託化の話がある中で矛盾しているのではないか。
- ・高校進学に於いて、推薦等では、部活動の実績を見られる現実がある。サークル活動とは、異なる。
- ・体育や芸術系のは、良いものを見る事が良いと思うので。
- ・部活を普段から身近に感じるとどんないいことがあるのかわからない
- ・体格差が大きく危険が伴う。見学や体験なら今のままでも充分できると思う。
- ・いくつも体験ができるのであれば、部活を決めやすそうです。
- ・本来なら悪くはないと思うが、渡り廊下でつながった、フェンスで隔離された学校で？という疑問しかない。
- ・中学の活動状況を見られるのは、刺激にもなるし目標にもなる。厳しい指導があれば逆効果にもなりかねない。
- ・6年生のうちに中学がどんなところか、部活動がどんな感じかを知れるのは良いと思ったからです。
- ・今現在部活を推奨していない志木市が部活なんていうこと自体嘘くさい。四小の鼓笛はなくすのか？
- ・中学生になるイメージを持てるし、不安を少しでも取り除けそうだしいいことだと思う。
- ・低学年が高学年の活動を妨げかねない。

- ・ 良い影響ばかりではないから
- ・ 小さい子供達をどのように管理するのか、先生にも上の学年の子供にも負担になるのではないか。
- ・ 一緒には体力的に無理です
- ・ 体験できる機会がないので嬉しく思います。習い事も今迷っていて今後やりたいことが見つかるといいです。
- ・ 良い面はゼロではないだろうが、小中一貫にする必須な事項とは思えない。見学会をするなどのレベルでもよい
- ・ 小学生はこれからどうなるのか分かりやすくなると思う
- ・ 早くから慣れておけるから
- ・ 小1と中3とでは体格差も大きく、ただでさえ入学して環境の変化に不安を感じる小1が、中学生に圧倒される
- ・ 子供の興味・関心を伸ばすことができるから
- ・ 現状でも学校見学、部活見学などで対応出来るため、義務教育学校である必要性がない。
- ・ 中学生と小学生ではあまりにも体力も考えてることも違いすぎる。
- ・ 現在の状況で問題ないと思います。
- ・ 進級への意欲が増すならいいことだと思う。不安にならないフォローは必要。
- ・ 良いと思う反面、体格差や理解度の違いもあるため危険も伴うのではないか
- ・ 部活は中学生になってからでよい。小学校の間は自由遊びも大事。
- ・ 経験則ですが年齢に見合わない過度な部活動は事故、事件につながりました、地域移行参加が良いと思います
- ・ できることから始めたらいいと思う。
- ・ 一貫校になることで運動場が狭くなる事が気になる。体験や間近で見る事は別に今の体制で行っても問題ない。
- ・ 本当に実際体験できるのであれば良い。
- ・ 渡り廊下一つで、「一体的に」「1から9年生全員」は、無理がある。
- ・ 年齢に応じた興味関心の充実したサポートの方が大事だと思う。
- ・ 発育が大きく違う子どもを同一の指導下に置くと適切な指導が受けられなかったり指導者の負担が増えると思う
- ・ この区域の子どもたちは登下校でも部活動は見れる、活動みせたいならその時間を取ればよいだけでは？
- ・ 部活動の種類が限られているため
- ・ 体格差など物理的に埋められない危険さを伴う点は教師だけで補えるのか不安。
- ・ 上級生の様子を見て目標ができることもあると思うのです良いと思います。
- ・ 活動時間が違うから
- ・ 多大な負担、大改革をしてまでやるべきメリットがあるとは思えない
- ・ お互いの様子が見られるのは良い面だけとは限らないため。
- ・ 部活動を小学生にも常に見られてるんだと中学校の先生が自覚すべき言葉や態度に気をつけるべき
- ・ わからない、という選択肢がないため、こちらに入力しました。
- ・ 知らないことを怖いと捉えてしまう子どもが、いるとすれば、今回の改革は安心できる材料になると思います
- ・ まず子供たちに目を向けて下さい暴言、暴力、いじめ クラス崩壊はどのように発生していますか？
- ・ 義務～にならなくても、一貫校で良いと思う。相互の交流を深めれば良いと思う。
- ・ 発育状況が違うので無意味。理想論であり、不可能。
- ・ 憧れの存在があるのは良いと思う。
- ・ 活動を早期に知る機会があればイメージがわき良いと思う。
- ・ お互いを気にする必要性が感じられない。
- ・ 渡り廊下でつないただけで一体的にはならないと思う。普通に放課後見に行けるようにすれば良いと思う。
- ・ 義務教育学校の強みと思う。「たまたま見た、体験した」の興味が得られることは大きい
- ・ 先輩後輩の関係を身近に感じられること。部活動のような専門的な科目に早くから興味を持てるから。
- ・ 未来の予想がしやすくなることで、心の準備ができる点は良いと思う
- ・ 進路選択の参考になる
- ・ 部活動で小1が近くに居るのは事故のリスク。遠慮して思い切り部活ができないのも辛い。学童保育は外遊び禁
- ・ 部活動の時間制限、活動制限があり満足にできない現状を見ている限り小学生にそれが真の姿だなんて言えない
- ・ 義務教育学校にしなくても交流や体験はできるのではないかと思います。
- ・ 部活を頑張っている姿を見て、何に打ち込みたいか事前に考えるいい機会になると思う。
- ・ 中学生の大会は中学生のみであり、それも意味がない
- ・ 学校が隣接しているのだから、部活動を見学したり体験することは機会を作ればいつでもできる。
- ・ 良いと思うがスポーツ系の部活動など低学年の子たちがそばにいと集中出来ないのではないかと心配。
- ・ そこまで良いことがあるとは思えない。
- ・ 中学生の悪いことが小学生に影響が出そう。
- ・ 年齢の差がありすぎても、子供達としては参考にならない事、デメリットもあると思うから。
- ・ お互いがどのように生活しているのか、は、今の隣り合う3校のままで充分わかります。
- ・ 部活を早い段階からしれるのは良いことだと思う。
- ・ 必要か？
- ・ うわべだけだから。
- ・ 小学生は中学生の様子が分からないので、生活、授業、部活等なんとなくでも知れるのは良いと思います

- ・ 個体の大きさが違いすぎるため、事故などの心配。良いところばかりとは思えない。
- ・ 中学から初めて感じる部活動の新鮮さが貴重な体験だと思う。
- ・ 垣根が減ることは良いと思う。
- ・ 合併しなくても体験くらいなら可能だと思う
- ・ 小学生は小学生らしく、中学生は中学生の縦社会があると思う。全く賛成出来ない。
- ・ 特になし
- ・ 特に理由はない
- ・ 授業時間や部活時間も減っている中、理想としては良いが現実的には質の低い内容になると思う。
- ・ 小学生には良いかもしれないが、ただでさえ練習時間が少ないのに中学生の負担が大きい。
- ・ 義務教育学校でなくても、小中連携でできること。義務教育学校にする理由が無く、今回も伝わらない。反対。
- ・ 部活は良いと思うが今の状態でも体験出来るのでは
- ・ 高学年には意識できるから良いと思う
- ・ 子供達が「??年生はこんなことするんだ」という会話を聞いたことがない。毎日いると逆に意識しないのでは
- ・ 自己肯定感を年代毎に高めるには、学年を細かく区切り、憧れのまとを小6でいったん止めた方がよい。
- ・ メリットとして感じない。部活の体験など必要ない。事前に分かると逆に嫌になる部分も出てくる。
- ・ 元々隣にあり見えている。建物が近いから一つにするのではなく、遠い小中学校ほど一緒にしたらよいのでは。
- ・ 小学生のうちから先を見据えて活動できるのは良いと思う。
- ・ 今の体制でも見えます
- ・ 三校並んでるので、今の状況で部活動の様子は分かると思う
- ・ 部活動の実態については、実際入部をしないとわからないものだから。見学などは、小中連携で十分
- ・ 成長段階の異なる子供を無理やり混ぜることが双方のためになるとは思えないため
- ・ イメージしやすいので良いと思うが、安全性の問題から見学は不可とか、時間的に無理など制限がないといい
- ・ 小中一貫教育でも高学年が中学との交流を深めれば達成できると思う。
- ・ 実現すれば良いと思う。ただ、日常的にどの学年も忙しいので交流のような時間が持てるな疑問
- ・ 早く知ることは良いと思います。
- ・ 現状でも工夫すれば出来ると思う。利用する校庭や体育館の使用率が人数の多さにより減るのではないか。
- ・ 二中では部活動があまり盛んなイメージがなく、その姿を見て感化されるのかわかりません。
- ・ 小学生にとっては中学生の生活を見れるのは良いと思うが、単発で見学期間を設けるだけでも十分なのでは？
- ・ 身近に感じることで逆に部活(その他)に入りたくない、上級生大変そうと思うかもしれない。
- ・ それは、同じ学校にして同じ校舎にしないとできないことか？必ずしもそうではないと感じる。
- ・ 未来の自分を想像出来る環境はいいと思う。現在の校舎間で実現できるとは思えない。
- ・ あまりに体格、体力が違いすぎませんか？
- ・ そう思わない
- ・ その学年での学びを大切にしてほしいから。
- ・ メリットもあまり考えられない
- ・ 早く知ることがいいことだと何故言い切れるのか。それぞれの年齢にあった教育があるはずだ。
- ・ 校舎が分かれるのにそんなことが可能かどうか疑問です。
- ・ 自然に姿が見えてイメージが持てるのはとても良いと思います。
- ・ 部活動改革と言われているが本質は変わらずに生徒が精神的に追い込まれたりする部活もある。部活動のあり方
- ・ 中学校生活のイメージがつきやすいし、体験できるのは楽しいと思う
- ・ 年上の生徒の様子を見て期待感が持てる
- ・ 部活動を新設したり、選択肢が増えれば体験できるのは良いことだか、今の数少ない部活動では魅力を感じない
- ・ 体験、見学はいいと思うが、中学生の練習などの妨げになるのでは？同じところで練習して怪我など心配。
- ・ 精神的、身体的に差があるため、あまり交流の意味を持たない。
- ・ 六年生と一年生ぐらいの歳の差で充分だと思う。
- ・ 小学生と中学生だと体格差もあり、体験と言っても難しいと思う。
- ・ 実際にこの取り組みが行えるのならば良いと思います。
- ・ 小学生から幅広い視野が持てるきっかけになるため。部活参加者の活動を阻害しない様バランスとして欲しい
- ・ 部活が活発に行わなくなり、クラブチームなどに行く子が増えてきている中、それをやってもあまり意味が無い
- ・ 中学へ進学する新鮮味がなくなる。お互いを自然に知ることという事に何をメリットと思っているのか不明。
- ・ 小1のそばで中3が全力で競技は危険でしかない。部活はグラウンドが使いやすくなるが学童は出られなくなる
- ・ 身近で見たり体験する事により、自分のやりたい部活などが明確になりそう。
- ・ 一体的な校舎でないと出来ないこととは思えない。今のままでもできることでは？
- ・ 小学1年生から部活動の様子を知る必要はない。もっと学ぶべき事がたくさんあるので。
- ・ 子供同士の刺激になると思う。
- ・ 目的や目標などが持ちやすいのではないかと感じる。上級生にとっても自律するきっかけを与えるのでは。
- ・ 実際、見ることで想像し、感じられるから。
- ・ 中学にどんな部活があるか、1回見学の機会があればいい。

- ・ 小学校のクラブにあるが中学校にはないなどもあるので、沢山のことに触れる機会ができるのが良いと思う。
- ・ 体格等が違ふと危険が伴うのでは
- ・ 中学校見学など6年生でやったらいいし、小学生の子は、今を生きるで、手いっぱいです。
- ・ 上の活動は刺激になるため
- ・ 部活動は教育課程外であり、今後地域移行も進むことから、その点をメリットとしてあげるのは良くない。
- ・ 自然にできるか！そういう時間を定期的につくれれば？どう考えても普段からのぞいたりするのは無理
- ・ 小学生のうちから部活を見てもよく分からないかと。厳しそうな場面を見て逆にやりたくなくなる可能性も。
- ・ 今でも隣の学校で活動する部活動の様子を知ることができている。
- ・ 単純に世界が広がる時期は早いに越したことはない。これに関しては懸念も少ない。
- ・ それがそんなに重要だとは思わないから。小学校と中学校で生活に違いがある方が意識に張りが出ると思う。
- ・ 中学生が入部するまであまり時間がないが、小学生のうちから、見学や体験できるのは、良いと思う。
- ・ 進学不安が少しは減りそう。ただ、楽しそう、早く行きたいと思わせる様な中学校生活である事が大前提。
- ・ 常に一緒に校舎でなくても、現状行っているような体験の機会を持つことで十分だと思います。
- ・ 小学生から選択の幅が広がり、実際に見られることは良いと思う。
- ・ 体験できるのは良いと思う。ただ、本気でやっている生徒の邪魔にならないようにして欲しい。
- ・ 部活を今後どうするかも未定のまま議論すべきではない。放課後のきしっこを小中一緒にするのはあり。
- ・ 現状でも見学会等日程をくめば義務教育制度にしくても可能だと思う
- ・ 子供に喜びや楽しみが増えるのは良い
- ・ 中途半端
- ・ 部活へのギャップがなくなります。
- ・ 入りたい部活に体験できるのはいいことだが、高学年に、低学年がいじめられたりしたら体格差もありすぎる
- ・ 部活動などは良いが、小中の授業時間やテスト形式の違いがどうなるのか等分らないことが多く不安。
- ・ 良いと思うが、1つの学校にならなくても隣なので気軽に見学させてもらえませんか？
- ・ 早いうちから今後を考える機会や良い刺激になると思う。
- ・ いじめや不登校が、9年制になって長引いたり、増えたりしない根拠は気になるが、概ね賛成。
- ・ 義務教育学校ではなく、一貫型の学校でも交流を図ることは可能。
- ・ 体験できないことができるのは嬉しい。
- ・ 良いと思うが、受験生の負担にならない範囲でやってあげて欲しい。
- ・ 今のままでもやろうと思えば出来ますよね。まずは今の形でやってみてください。
- ・ 部活動数も微々たる数、かつ働き方改革で活動時間も減る一方の中それを実施した場合中学生の貴重な活動の妨げ
- ・ 現実的ではない中1ギャップの解消が目的ならば不要進学、就職他、生きていくには環境の変化は必ずある
- ・ 互いの生活を見れることで、どんな目的が達成されるかが明確であれば良いと思うが、読み取れない
- ・ 昔と違い、部活動は、参加してもしなくても自由なので、やるメリットを感じません。
- ・ 予め知ってなくても大丈夫
- ・ 中1ギャップを解消できると考えるから
- ・ 渡り廊下でつないでも一体化しないと思います。交流は良いことだと思いますが、部活見学で良いと思います。
- ・ どのように身近に感じるのかカリキュラムがわかりません。学校主導ですか、生徒が自主的に見に行くのですか
- ・ 部活は中学からでかまわない一体化しなくても交流だけあれば見る事はできる
- ・ 部活動がどういうものなのか、実際に見ることで未来の自分事ととらえやすい
- ・ 学年によっては全く関心が持てず、1-9年は学年の幅が広すぎたと思うから。
- ・ 実態として教室が離れている事を考えるとあまり合流は持てないのではないかと思います。
- ・ 今でも校庭から見えるし3校ランしている中学生を見かけられる。小中独立して伸び伸び過ごしてほしい。
- ・ 小学生からの視点は良いと思うが、多感な中学生からすると、負担に感じることもあると思う。
- ・ 外部の習い事をしているので、あえて部活動に参加する必要はない。
- ・ 小学生は部活の時間帰宅してます。年齢差があります。
- ・ 下校後に校庭で遊ぶ小学生は校庭が部活使用のため使えない、学童の子供も増え、遊べない、という弊害の有無
- ・ 球技では小さいのがいると力加減が必要になる。大きい子に我慢させる機会が増えるのはストレス増大と思う。
- ・ 意味でと部活の在り方が変わろうとしているのに、その必要はない。
- ・ 小学生は心の準備ができる
- ・ 縦長で憧れの存在がいるのは良い事だけど、人間関係につまづいた時に逃げ場なくなる。
- ・ 子供が自分の将来像について身近なものとして先輩から感じる事ができるから
- ・ 自分の先の姿を見通せることは、安心材料となるため。
- ・ 部活動の見学などは高学年に限ったりしないと、競技や活動に支障が出るのではないかな。
- ・ 現行の3校並びでも垣間見えるし、中学校見学などで実現できている。義務教育にしくてもできる事だと思う
- ・ こんな風になりたいと思うことはいいと思う
- ・ 根本的にそこを子供は求めてない
- ・ 部活動を体験できるのはいいと思うが、校舎を繋げて一体化する必要はないと思う
- ・ 子どもは自分に関わりがないことには関心を持たないと思うのでそうなるとは思えない。

- ・中学生になったら部活に入る。という憧れの気持ちが薄れてしまうと思う。
- ・小学校には小学校の良さ、中学校には中学校の良さがあり、敢えて一貫にしくても良いと思う。
- ・小学校高学年であれば、中学校への不安が少しでも減るのかなと思いました。
- ・小学校と中学校の環境は異なるべきで、その環境の変化を体験出来ないと、中学校から高校に進学した際に問題
- ・中学生からしてみたら、集中したい時に出来ない気がします。
- ・何かトラブルになった際、生徒数が多い分当事者が誰なのか分からず解決にならなくてなりそうです。
- ・こじつけたような利点をあげてほしくありません
- ・中学生になって部活動を決める際に、参考になると思います。中学生も小学生に教えることによって成長できる
- ・低学年がいて部活動をしている立場からすると、活動の邪魔になる恐れがある。
- ・今のままでいい。マンモス校になることに不安がある。
- ・関わる先生が増えることは良いと思うが、心身含め様々な年齢的な差から部活は理解できると思えない
- ・年齢の幅が大きすぎて良し悪し。
- ・部活動が衰退しているため、小学生も入り行うことは活性化につながる
- ・小学生のうちから中学生のことを知る機会ができるのはいいことだと思う
- ・節目がなく、だらだらと惰性で過ごしてしまいそう。
- ・今でも充分見る機会はある。
- ・6年生までのうちに「7年生以降どの部活に入りたいか」を決めるにはとても良いと思う。
- ・部活が始まると習い事を辞めてしまう子が多いのと、中学生の邪魔にならないか心配。
- ・早く始めた方が上手くなりそうだから。
- ・そんなに交流させたいのなら、今のシステムでも見学や、交流を頻繁にさせれば良い。近いのだから。
- ・留学でもあるまいし、中学生の生活を小学生がそこまで事前に知る必要なし。もっと小学生らしい活動を求む
- ・現在でも、隣接していることにより中学校の部活動の様子は見えるのではないかなと思う。
- ・わざわざ高いお金をかけてまで一体的な校舎にする必要が無い。別々でも、機会を作ればよいだけの話し。
- ・中学生の部活に小学校低学年が参加してどうする？現場(子供たち)を知らない人の意見としか思えない
- ・1つの学校にしくなくても、定期的な交流をすれば良い。
- ・気を使いながらの活動は難しいと思う。小学生の頃から体験会など実施すればいいと思う。
- ・必要性を感じない
- ・参加させることで、本気の中3の子の負担がふえる
- ・小学生が先を見る分にはいいが、逆を考えるといい事なのか疑問に感じる。
- ・前項同様。ただ、部活については在り方について議論する余地は必要に感じる
- ・小学生は小学生で年齢に応じたやることがあると思うからです。
- ・きょうだいがいない子供は部活動や受験の情報が得られやすくなり、助かると思う。
- ・今のままで充分満足しています。
- ・目にしていると自然と不安が無くなるから。
- ・中学生になるイメージが湧くので意識しやすく良いが、それなら小中交流会みたいな企画を頻繁にするで良い。
- ・中学校での生活の様子をあらかじめ知ることには反対はしないから
- ・中学生の活動を見て5,6年生は数年後の活動を想像しやすい。期待を持ってやすいから。
- ・わざわざ渡り廊下を渡って毎回見に行くのか？そこまでして、上や下の学年を見に行く必要が分からない。

Q 志木の森学園(義務教育学校)では、一体的な校舎となることで、例えば、小学校の算数の授業で、中学校の数学の先生が授業することにより、学習の段差をなだらかにすることができます。また、中学校の授業でこれまでの子供の学びの様子を知っている小学校の先生が、中学校の授業のサポートをすることで、つまづきを早めに把握し、対応することができます。
このことについてどう思いますか。(1つ)

【自由記述】

- ・そのつまづきとは個々のつまづきなのか？組織がまだ小さい現在でも、通常学級では先生にその余裕がない。
- ・中学校の先生だから教え方が上手というものではない。小学校の先生でも教え方が上手い先生はいると思う。
- ・先生方は異動があり同じ先生がいるとは限らないのに理想を掲げないでください。先生に余裕はないはずです。
- ・学力面では塾ありきだと感じるの
- ・その年齢の子が理解できる言葉選びが、小学校の先生の方が上手だと感じるため
- ・先生が行き来して授業を教えるのも教え方に統一感がなければ混乱してしまう
- ・学校を一つにしなれば出来ないコミュニケーションではないとおもいます。投資に対して効果が薄いです。
- ・教員の人数について矛盾したこと並べているから質問が成立していない
- ・質問内容自体は良いことだが、小中一貫校でも可能では？夢ではなく具体的なカリキュラムを提示すべき。
- ・良いと思うを選択したがそもそも先生の柔軟性や教える力だと思う。低学年に厳しすぎる、体罰を無くして
- ・中学の先生が指導することでなぜ段差がなだらかになるといえるのかわからない。先生は移動がある。
- ・1つの校舎に9年生までいるならとてもいいと思う、別れた校舎はどうかと思う
- ・今もそれができているのであれば、あえて義務教育学校にする必要はないから

- ・すでに子供が小学生の時に同様の対応があったが 評判が悪く良くなかった。
- ・中学生向けに授業をしてきた先生が小学生向けに授業出来るとは思えない
- ・実際は学力の低い方に合わせているように思います。小中一貫より中高一貫でさいたま市に対抗してほしい
- ・つまづいてる子に合わせるだけでなく、上の子を伸ばすことも考えた方がいいのでは？
- ・必要ない
- ・現行の体制では不可能な理由の説明に説得力がありません。市民に対する丁寧な説明が不足しています。
- ・何でも混ぜれば良いのか疑問。小は小の先生の接し方等もあると思う。子を実験台にするならもっと計画的に
- ・前項と同じ形態変えなくてもできる
- ・小学校の時点で少人数学級や習熟度別クラスで個々をしっかりと見て取り残しをなくしたほうがよいと思う。
- ・それによって、早期に対応できるなら良いことだと思うが、小学校の先生ではなぜ出来ないのかが疑問。
- ・そんなに理想通りには行かないと思う
- ・教員の負担が多くなりそうだから。教員数が増えるならいいと思う。
- ・そもそも算数と数学は考え方が異なる。中学の先生が小学生に教える事で段差がなくなるとは？
- ・小学校はただでさえ進みが遅いので、なだらかにするよりもっと進めて欲しい。
- ・実現して欲しいです。
- ・中学の先生が小学生に教えるとなぜ学習の段差がなだらかになるのか意味がわからない。
- ・先生方の負担が大きいのではないかと感じるからです。
- ・一体的な校舎になることで、は関係ない。少人数クラスにすること、サポートの先生を必ず毎時間入れればよい
- ・いいことだと思うが、それなら義務教育学校にしなくてもできることだと思う。
- ・無駄な学習を省けるのは良いと思う。
- ・先生方のやる気次第だと思うので
- ・いいと思うが、担当を外れた生徒のことをただでさえ忙しい先生たちが本当に気にかけるのか疑問。
- ・学校の宿題を多くだし教育して欲しい。塾に行く人が多くレベルが高いせいで私立を検討する人が多い
- ・これらが実現する具体的なプランが資料にない。先生のご負担はどうなるのか。手はたりののか懸念。
- ・つまづく子はつまづくので、別にサポートすべきだと思う。
- ・ギャップ対策
- ・小学生に適した先生、中学生に適した先生っているので、中1の壁をなくすことばかり考えず小学生のことも考
- ・理解が早い子は発展的な学習を、ゆっくりの子は理解できるまで学習できれば全体的な学力向上を目指す
- ・それだけで中学の壁がなくなるとするのは、見当違いだ。
- ・先生が大変そう。
- ・意識の高い子は学校にそこまでの期待をしていない。志木の子たちは塾へいく。
- ・特に必要ないと思います。実際、我が子は中学校に上がっても問題ありませんでした。
- ・いいと思うけれど、学力の差はあると思う
- ・理想論ばかりでなく、ほんとにできるかは不明。軌道に乗るには長く時間がかかるだろう
- ・先生たちの意識向上が求められる
- ・悪くないですが、行き届くだけの教員が足りるのか心配です。実現可能性が低い気がします。
- ・人によると思う、今の段階でもうちの子は授業について行けてないです
- ・お互いの先生の負担が増えるだけ。
- ・属人的サポート、教師の異動で学習断絶します、AI教材の活用や小児科臨床心理士派遣も視野に入れて欲しい
- ・つまづいてもサポートするから大丈夫だよと言われる方が、子供達も安心するのではないかな。
- ・先生方の負担増。授業のつまづき等は生徒個人表(?)に明記し、先生方で共有してもらおうのが良いかと。
- ・本当にサポートができるのであれば良い。
- ・だが、例えば算数数学連携が必要なのは、高学年からなのに、校舎は1-5年、6-9年。連携をどう取るという理想論であり、現実味が無い。
- ・教師には転勤があるのでメリットは薄い。少人数教育で授業のなかでキメ細かい指導をしてもらえればよい。
- ・学習の段差をなだらかにするとは？先生の技量、生徒をみる力が必要になるので教職員の負担増に繋がるのでは
- ・学習の段差をなくす具体的な対策を示してもらえたらと思う。あまり変わらないのではないかな。
- ・言葉では簡単、良さそうに聞こえるが実際先生達はやりづらいのではないかな？
- ・小学校での学力についてしっかり引き継ぎがなされることは良いことだと思います
- ・今の少人数教室で自分にあったペースで出来るのが良いと思うから
- ・設問がおかしい。一体的な校舎になることとは関係がない。
- ・Q8に同じ
- ・中学の先生に、小学校のことをよく知ってもらいたい
- ・小学校の中でもサポートしきれてないのに中学生までサポートできるのか疑問でできるのであれば良いと思う
- ・先生の負担が増えそう。結局異動などもあるし、生徒のことを知らない先生が対応すること多いのでは。
- ・情報共有し今直ぐ取り組めば良い内容です
- ・本当に実現できれば理想的だと思う。
- ・範囲を広めることで教員の負担が増える。小学生と中学生では教え方が違い対応しきれず学力が低下する

- ・授業そのものは難度もあるので担当の先生で良いのでは？見学したり交流というカタチは良いと思います。
- ・教員の負担が大きくなりそうで心配。人員の確保はできるのかと思う。
- ・過去の教育方針で困ったことがあったのかどうかを説明すべき。
- ・先生は転入出しないのですか？対象学年、人数増えてきめ細かい対応をしたら先生がより大変になるだけでは。
- ・子供にとっては良い。教員負担は心配
- ・9年間の長いスパンでなんでこの勉強をしているかを授業で教えられるから。教員のスキルに左右はされる。
- ・双方今までの経験と知識で補える部分だと思う。正直先生に余計な仕事を増やすだけだと思う。
- ・本当にそうならば良いと思うが、今でさえ特段この生徒への学習対応が充分とは言えないので不安は残る
- ・つまづきを無くすより小学生→中学生となると気持ちが変わったと思うが6年→7年。小学生のままでいそう。
- ・中学校の先生が持つ技術と小学校の先生が持つ技術は全く別物。児童生徒の実態に応じた指導を望む。
- ・学習の段差ではなく、自律することが増えることについていけない。その支援が必要。
- ・わからない子供に対し分かるまで教えられれば良いと思う
- ・先生の負担が増えそう生徒が混乱しそう
- ・そんな時間を実際とれるのか 聞こえはいいですが具体的にできるのか疑問です働き方改革してるのに
- ・専門の先生が教えてくれる機会があるのはとても良いと思うが、先生達の負担が心配。
- ・義務教育学校にすることとは関係がない
- ・ただただ、先生の負担にしかない。
- ・今までも交流があったので、一貫校ではなくても対応していた。
- ・中学の授業をしてきた先生が小学生のレベルにあわせた教えが出来るのならばとても良いと思う。
- ・先生が変われば意味がない。
- ・中学生と小学生とは言葉や接し方も変えないと伝わらないと思うので、中学校の先生には難しいと思う。
- ・6年生から中学一年生までの流れを止めない、というとはとても良いと思う
- ・専門性と心のケアは、違うもの考えるから。
- ・なだらかに、とは？
- ・本当にできるかイメージがわからない。
- ・中学校の先生には、小学生への教え方ができるのか心配。
- ・生徒を知る先生が9年在籍するのか？習熟度別にすべき。
- ・今も校舎が近いので、交流の機会を作ればいいだけではないだろうか？
- ・今まで経験した事がない畑(学年)で、わかりやすく教えるのは困難だと思う。
- ・中学校の数学教師が算数が苦手な小学生に向けてわかりやすい授業をできるとは思わない。
- ・普段と違う先生に教えてもらおうと生徒は緊張するのではないかと教師間のやり取りで教え方は調整すべき
- ・先生の負担が大きくなる
- ・学校を繋げなくても隣接してるのだから、行き来しやすいので合併の必要までは感じない
- ・今も中学の先生が小学校にきて教えていただく事がありますが、子供に聞くと教え方が根本的に違うとのこと
- ・理解力がよりよくなりそう
- ・そんなにうまく行くとはいえない
- ・現在でも小学校に中学の先生が来ておしえてくれているので、そのままよいのでは。
- ・先生の力量で進学した時に困らない種まきをしてくれる先生はいるが、全てではないので、慣れる意味で○
- ・実際全ての子供の状況を把握できるのであれば良いと思うが、先生の負荷が心配。子供達への影響も心配。
- ・具体的に、どれくらいの単元数をフォローしあうのか示して。理想論ばかりで現実味無し。また必要かも不明
- ・ついていけるか心配。中1でギャップがあるならそこを経験させて成長させたい
- ・中学の先生が教えるだけで内容は変わらない。担任も毎年変わり、異動もあるので、継続して見てもらえない。
- ・具体的にどういうことなのかがよくわからない。
- ・学園内でしか異動しないのならよいと思うが、全く別学校から来る先生もいるので、そこまで効果があるか謎。
- ・小学生が移動教室は効率が悪い。小1に担当教科制は子供のメンタルに負担がかかる
- ・内容が現実的ではなく理想論に過ぎない。
- ・先生は異動があり情報が連携される子とされない子が出る。算数や数学クラスを細分化や複数担任の方が良い。
- ・先生の専門性を活かした授業が行われるので、より質が上がって良いと思う
- ・各学年でやるべき事にフォーカスすべき
- ・中学校教諭が小学生を教えるのは、反対。教員にも向き不向きがあると思う。
- ・今の段階でも、すでに空き時間がある中学校教員が小学校に指導しに行っている。それで充分である
- ・先生はそこまで万能ではないと思うし、負荷が上がることで本来すべき職務が疎かになると懸念するため
- ・子供達にとってはいいことだと思うが、先生の負荷があがるのでは？授業準備の効率化などが先に必要と思う。
- ・教科ごとに専門の先生が居たほうがより高度な指導ができるため。
- ・うまく回れば良いと思うが先生の負担が心配。また中1ギャップでなく新たに小6ギャップが生まれませんか
- ・本当にこの効果があるなら、良いです。
- ・一人ひとりの学びのスピードが違うから個々の差ができて勉強についていけなくなると思う
- ・勉強につまずいている子がフォローしてもらえるのはいい。できる子は先に進んで勉強するのか知りたい。

- ・今でもやっていることであり、校舎を一体化することとは関係がないと思う。
- ・体制が一貫になっても、9年間で担当教員が入れ替われれば(数年毎に先生が変更)今までと代わりないのでは。
- ・現時点でも把握しきれていないでサポート出来ていないので無理だと思う。
- ・現状でも取り組んでいるのではないかと。狭い空間の中に押し込められてしまう方が問題ではないか。
- ・本当にサポートするのなら良いことだと思う。でも中学の教科制を小学校に当てはめたら低学年にはかわいそう
- ・勉強が苦手な子、得意な子、様々いると思うが、生徒が多く、手厚いフォローはできないと感じるから。
- ・先生方の間で、一人ひとりの児童について綿密な申し送りがされるのであれば、絵に描いた餅になると思う。
- ・顔を知っている先生が増えることは安心感に繋がると思う
- ・異動のある公立学校では、できないと思う。
- ・授業時間も他県に比べて少なく、今の学年の勉強だけで手一杯に見える。学年に沿った事に集中して頂きたい。
- ・今の小学校の先生が、中学校の学習をフォローできるとは考えづらあた
- ・学習に先の見通しを持つのは良いが、だからといって1人ひとりに丁寧に教える時間はないと思うから。
- ・細やかなサポートまで現実的に可能であれば良いと思う。少ない教員で個々の子供にどれだけ向き合えますか？
- ・本当にサポートして貰えるのか不安です
- ・それ自体はいいと思うが、義務教育学校にする必要はなく、小中一貫教育で十分だ。
- ・良いと思いますが、子どもたちを惹きつけられるような魅力的な授業をする教師がいるかどうか。
- ・中学校の先生が小学生の授業をすれば学習の段差がなだらかなる、というのは机上の空論だと思う。
- ・本当に躓きがある場合はそんな単純なことで改善しないので、出来ない子へのサポートを充実させてほしい
- ・教職員が行き来して、教え方に混乱が起きないか心配。教科担当制は良いが、違う先生が持ち合うことには疑問
- ・教員の負担増に加え、つまづきの段差がなだらかなるかどうかはまだ不確実で、慎重に検討する必要がある
- ・中学校で先生が変わることに拒否感はない。先生との関係が希薄になる方が心配
- ・転勤がある以上、ずっと見守るのは難しい。
- ・中学生の先生が例えば、小学校1年生の子供たちに授業をしているイメージが沸かない。
- ・先生がいろいろ変わるより、慣れた先生の授業が良いと思う。
- ・生徒人数が増え、全体を見ることができると不明。遅れている子をちゃんと見れるのか。
- ・結局あまり変わらないと思う。
- ・実際にこの取り組みが行えるのならば良いと思います。
- ・躓き解消のため良い苦手な先生が1-9年生で教鞭に立つと、萎縮する子もいる適度な入れ替わりなど望む
- ・学力の差や性格もあるので、理想論でしかないように思います。押しつけがましいと思います。
- ・中1リァリティショックの理由は復習とかではなく、急に自主性に任せられること。本人たちが認識していない
- ・中学での数学を見据えた勉強を小学校から教えてもらえそうだから
- ・一体化しないと出来ないこととは思えない。隣接しているメリットを活かしたら出来ることではないか。
- ・今までのような人数の中でなら可能ですが、児童生徒数が増えて同じように授業ができるのか？不安。
- ・そも「この学年ではこれを勉強」というのを無くす努力の方を望む。
- ・小学校から中学校に上がると授業が難しくなる事があるので教師同士話し合いながら進められるのは良いと思う
- ・今までの先生がサポートするのは、自分を知っていてくれるという安心感があるから
- ・特に小学生のうちはクラスの人数を少なくすることのほうが重要だと思う。
- ・先生の数が増員されるなら、生徒一人ひとりに目が届いて良いと思う。
- ・引き継ぎ等がしっかりされるのであればよい
- ・教師の負担になるだけで、結果的に全てがやっつけ仕事になって適当になるとしか思えない。
- ・良い面もあるが中学の授業等が疎かにならないか。人を増やすなど対策必要では？
- ・小学校と中学校の段差が教師のせいだとは思わないから。それが目的であれば、教科書の内容の段階差を見直し
- ・サポート体制は魅力だが、果たしてどこまで管理できるのか。取り纏めが困難ではないか心配。
- ・つまづきが少なくなるのは良い
- ・つまづく子は何であれつまづきます。先生の負担も大きいのでは？
- ・そのようなやり方がかえって、子供にプレッシャーをかけると思う。
- ・職員ごとの持ち時間や勤務体型も異なるため、想定されているような交流は現実的ではない。
- ・その通りに伝達がスムーズに行けばいいと思いますが、実際は生徒数が多いので先生方の負担が増えるのは確実
- ・義務教育学校にしなくても、連携を取ることはできるから。
- ・額面通り情報交換が綿密に成されるのであればよし。
- ・学力は子供自身の意識の変化によっていくらでも変わると思うので、逆にレッテルを貼られたままなのは嫌です
- ・小学生のうちのつまづきは、小学校の先生が対応すべきでは？
- ・中学校の先生が授業をするよりも、複数の先生で授業をするほうが児童のサポートをすることが可能だと思う。
- ・先生が大変そう。
- ・先生方の負担増により、そもそもの小学・中学の授業が疎かになる心配があります。
- ・例の方法でなぜ学習の段差をなだらかなるかがよくわからない。デメリットの記載が無くて判断しづらい。
- ・クラス30～40名をしっかりと見届けていただけた方がありがたい。学習支援員を小中一貫にするのはあり。
- ・つまづきをなくすなら算数を少人数制の授業に戻してほしい。教員がたりず行き届いた授業になってない

- ・ 子供が嫌がっている
- ・ 1000人規模の生徒がいるのにそれは非現実的
- ・ そこまでの余裕があるとは思えない。今の自分たちのクラスで手一杯だと思う。
- ・ 人数も増えるし、そこまで一人一人の学力を把握出来るとは思えない。
- ・ 理想だ、機能するとは思えない。
- ・ 良い取り組みだが、校舎が一体的にならなくても出来ることではないか。義務教育学校以外ではできないのか？
- ・ 文章に書かれる通りのサポート得られるか分からない。学力差をよく見て、先生方にはご対応頂く必要ある
- ・ 教師の負担が増えるから
- ・ 実現すれば理想ですが、スキル面、人材面で可能なのか実態を知りたい。
- ・ 現在も、同じ校舎でなくとも、先生方の交流は図られている。
- ・ 今まででは行われて来なかったことが早めにわかり、行われるようになるのはいいと思います。
- ・ 中学校生活を身近に感じられるのはいいと思う。学力の把握までは負担が重いのではないか。
- ・ 先生の業務範囲を今以上に増やして、効果が出るとは思えません。やりたければ今のままでも出来ます。
- ・ この地域は幼い頃から学習塾等に通っている割合が高く、つまり生徒は少ない。全面に掲げるには非現実的。
- ・ 前半の学習の段差をなだらかにする、意味がよくわからない後半の様子を知っている先生のサポートはよい
- ・ 上手い効果が望めない気がする
- ・ これまでどんな問題がどれほどの数で発生していたか、数値で把握できないので、なんとも言えない
- ・ 先生が専門職として、教員が小中分かれてるのに、訓練してる内容が生かせないため。
- ・ 実際に授業を受けた子どもが数学に興味を持ったから。ただ、校舎が一体じゃなくても出来る事
- ・ 算数や数学の学びはスパイラルであり、系統性を考えた指導が可能だと考えるから
- ・ わざわざ義務教育学校にしなくてもできることだと思います。
- ・ 理解力不足は、当該授業の質の問題だと思います。サポートに入る以前に把握していただきたいです。
- ・ 算数が難しくなりそう
- ・ 先生同士のコミュニケーションがきちんとはかれれば上手くいくと思うが、課題もたくさんあると思う。
- ・ 教員免許は問題無くても中学校しか教えていない教員が小学校で教える時教科に加えて生徒指導上の問題が出る
- ・ そもそも、そういう取り組みが必要と感じているならやってなかったのはなぜかと思います。
- ・ 志木二中は受験には塾へ行ってくださいという指導なのに、小学生の面倒を見られるのか疑問。
- ・ 突貫的に連絡通路を設置と言う考え方に疑問。長期的には連絡通路の老弱性が心配。
- ・ つまりいたら、そのときにその学年の先生が対応してください。
- ・ それぞれの学年でしっかり教える事が大切。
- ・ 算数、数学は差が出やすくサポートが必要だと思うので
- ・ 片方では x や π が使えない、片方では3.14を使ってなどは子だけでなく先生も混乱しそう。
- ・ 中学生の先生に以前算数と数学は別物だと言われたら。小学校でしっかりと算数を勉強させるべき
- ・ 先生の異動があるならずっと見守ることなど不可だから
- ・ 中学生は小学生と違い、受験に向けて意識を変えて勉強する環境が必要。益々塾ありきの教育学校になりそう。
- ・ 一人一人の学習状況を長い目で見守っていければ良いと思います。
- ・ どうしてそれが学習のつまづきを防ぐのか理由が不明
- ・ 取り組みとしては良い。ただ先生方の努力で試みている現状から、校舎一体型ではなくても出来ると思う
- ・ 先生の負担が大きいのではと思う。
- ・ 三校並んでるんだから、一緒にしなくてもやりたいなら今のままでも出来るはず。
- ・ 教科担任制に近いのであればいいと思う
- ・ 「学習の段差をなだらかに」の意味がわからない。
- ・ 今も先生方が子供たちの勉強を見きれてないと感じる部分があるため、一貫にしたらもっと見れないと感じる
- ・ 先生方も人事異動があると思うので、そのサポートが本当に引き継げるのか不安はあります。
- ・ 小学生と中学生では、子どもの発達が違うので、単に教員免許の有無だけで考えることが難しいと思う。
- ・ 先生の負担が大きくなるため
- ・ 中学の数学の先生は中学生専門な気がしますから、小学生にわかるような言葉を選んで教える事ができるのか？
- ・ 別で問題ない
- ・ 各児童に対して先生が持っている印象がずっと引きずられる懸念がある。
- ・ 考え方は良いと思いますが、校舎を一体化しなくても出来ると思います。
- ・ それが可能なんでしょうか？？人員も足りない中非常に疑わしいです。
- ・ 先生同士が、生徒の得意不得意を把握することは、指導のしやすさに繋がると思います。
- ・ それぞれ専門の先生にみてほしい
- ・ 年齢ごとに、しかもそこにいる個々の生徒に合わせ分かりやすい授業ができるのか不明なため。
- ・ 実現されれば良いと思うが現場で働く先生たちが慣れるまでに時間は必要そう。
- ・ つまづきが勉強をしなくなる、要因として大きいため賛成！
- ・ そもそも、そこまで一人一人の学習に寄り添う事が出来るのか？という疑問がある。
- ・ 今の小中一環教育で十分である。

- ・ つまづかなくて済むと思う。
- ・ 中学校の先生の担当授業数が増えることになるのか？先生方の負担増加が心配です。
- ・ 先生が大変そう。二中は頭が良いと言われているようなのでレベルが落ちないか心配
- ・ 小学生には小学生の、中学生には中学生の、それぞれの発達段階での成長に応じた指導をするべき
- ・ 小学生は小学生に特化した教師で。小学生に慣れない中学教師が下手に教えるとむしろつまづく可能性あり
- ・ 「学習の段差をなだらかにすること」は、小学校の先生にはできないことなのでしょうか。
- ・ よく分かりません。一体になる事でというより、教師の質と生徒の人数によると思います
- ・ 小1から中3までを均等に教えられる先生はごく僅か。それぞれの学年に合った先生が教えるべき
- ・ 私立だったらわかるが異動の多い公立校ではあまり意味がない。今中学の先生がたまに教えに行くので充分。
- ・ なだらかになるでしょうか。学習能力の差が大きくなると思う。
- ・ 生徒数が多いのに先生方は把握できるのか？
- ・ 今でもフォローされてると思わないため
- ・ では、それが小学生が理解できるのか中学の先生の授業をみてとてもでないが、無理だと思う
- ・ それぞれ自分の学年の内容ができていかしっかりみてもらえる方がいい。先取りアピールいらない。
- ・ 9年制という仕組みに移行する以上むしろそうあるべき。できないのであればやる意味はない
- ・ 公立小中レベルの学習であれば正直誰が教えても差は出ないと思う。先生の負担が増えるのであれば本末転倒。
- ・ 働き方改革でなるべく先生の負担を減らす方向にきているのに、これでは現場の負担が拡大します。
- ・ もしそれが本当にできるならすごく良いことだと思う。
- ・ 大して変わらないように思う。普段の様子をよく知る担任が授業をするほうが理解度が高まりそうに思う。
- ・ 実際に運営が始まった時に書かれている内容が実行され、サポート体制やフォローが万全であればいいと思う
- ・ つまづき解消の為、6,7年生の先生方全員が丁寧にサポートしたら良いが、対応に差があると子供が可哀想。
- ・ 小学校の教え方と中学校の教え方が違うのは当然。つまづきから成長する事のほうが意義がある。

Q 志木の森学園(義務教育学校)では、異学年での合同授業を行うこともあります。例えば、総合的な学習の時間の中では、学年を超えた多くの仲間と一緒に話合いや調べ学習をしたり、音楽の授業でお互いの合唱を聴き合ったりするなど、小学生と中学生が交流する学校生活の中でこれまで以上にたくさんの経験が得られます。
このことについてどう思いますか。(1つ)

【自由記述】

- ・ そのような経験よりも、普段の毎日の学校生活が、権利主体として認められ、安心して過ごすことが大切と考
- ・ 中学生と小学生では合唱等への熱量が大分差が出てくると思う。良い面もあるかもしれないが悪い面も見える。
- ・ 現在の体制でもできるはずで義務教育学校にする理由付けにならない
- ・ 色々な経験が増えるのは良い
- ・ 人数が多すぎて、大規模な総合学習はできないと思う。保護者が参加する行事も、人数が多すぎて見れなくなる
- ・ 現在の小学校の中で、学年間交流がいかほど行われているのでしょうか？今できないことは先にもできません。
- ・ 授業内容によるが、超える年齢差が大きいと成り立たないと思われる
- ・ 現時点でも行っていますが、このことについて教育委員会は把握してますか？
- ・ 良いと思うを選択したが高学年になると低学年に対してあまり興味を持たない。低学年は怖いという感情を持つ
- ・ 本来良いことではあるが、忙しい中学生にそのような余裕があるのか疑問。
- ・ 1つの校舎ならいいと思う
- ・ 教員の自己満足ではないですか？子供が望んでいることでしょうか？今も合流ありますよね。それで十分です。
- ・ 現在も異年齢交流の場があることで、楽しみや自信を持てているため。
- ・ 義務教育学校にする必要はなく、中学生には実施する余裕はないと思います。
- ・ 中学生の負担が増える
- ・ 大人の理想、希望を子どもたちに強要しているような気がするから。
- ・ 年齢差がありすぎるのでは？異学年とのことであれば、小学3年生と6年生等の組み合わせでよいのでは？
- ・ 必要が、ない
- ・ たくさんの経験や意見交換ができそうだから
- ・ この内容自体は良いですが、デメリットと対応策の説明なく、現行体制では不可能な理由に説得力感じません。
- ・ 現状でも可能だと思います。
- ・ 選択科目で
- ・ 現実は無理だと思う
- ・ 体験が増えたり多様になると思うから。
- ・ 中学生にメリットはない
- ・ 体験なら今のままでも可能だと感じる。
- ・ そのような活動する時間はあるのでしょうか。
- ・ 良い悪いはともかく、必要なら手順を踏んで交流すればよいのではないかと思う。小中一貫校でもできるのでは
- ・ そもそもその単元の時間が異なるのに、どうやって交流の時間を持てるのか。

- ・小学生が中学校の音楽祭（合唱祭）を鑑賞しに行けばいい話。
- ・小学生側は中学の様子やイメージは持てると思うが、中学生側は面倒くさいとしか思わなさそう。
- ・低学年は高学年を目標として見られるが、高学年になるにつれ目標へのメリハリが無くなるように思うから
- ・小学生と中学生では精神年齢、理解力が異なる為一緒にできる活動は少ない。中学生の活動を妨げないでほしい
- ・音楽や体育的なことはいいと思うが、学習的なことはそもそも知的レベルが異なるので無理があるのでは？
- ・他学年との交流が持てるのはとても良いことで嬉しいがただいじめなどが発生する不安も大きい。
- ・前事項と同様、先生にそれだけの余裕があるのか具体的な想定プランが資料から分からない。実現可能か不明
- ・音楽祭などは良いと思うが、学習は大人数過ぎると積極的に参加する生徒に限られてそうで、効果が薄そう。
- ・子供によっては向上心につながるのでは
- ・小学生と中学生の交流は今まで通りで良い。小中学生の交流より小学生間での縦割り活動を増やすことが大事
- ・現状でもそのような試みは可能だ。
- ・義務教育学校にしなくても、このような交流はできると思うから。
- ・ただし、9年間同じ人間関係の中で育つのはデメリットも大きい。
- ・無駄な時間。小学生同士は良いと思うが、忙しい中学生にとってはただただ無駄な時間
- ・現在も似たような事が実施されており、今の制度で満足しております。
- ・理想論だと思うし、自分の子供が在学中には何も変わらないと思うと、あまり自分事に考えられないのが現実
- ・よい取組みだと思います。上の子が下の学年の子にはまだ難しいことを責めない配慮は必要だと思います。
- ・年間数回行き来し、交流することは良い事だと思うが、それが常にである必要はない
- ・先生や友達と上手くいけば、いいですが
- ・行事だけなら義務教育学校にしなくても一緒にやる機会は作れる。
- ・音楽以外の経験をする場面が思いつかないです
- ・但し、交流会は今の体制でも出来ると思う。渡り廊下を作ってまでしなくても良いかな。
- ・現段階で経験できることが色々減らされています。なのでできれば良いが期待できません。
- ・今までの交流でよい
- ・有意義に指導できる教員がいるのか疑問。
- ・とりあえず今の中学、小学校で学年を超えた学習ができてから、考えるべきでは。
- ・異学年の交流よりも違うことに有意義に時間を使ってほしい。現在以上の異学年交流に必要性を感じない。
- ・合同授業は学校を一緒にしなくてもできると思います
- ・声変わりしている男子とまだあどけなさや活発さが残る小学生それぞれが別だからこそ良き点だと思う
- ・下級生たちからすると刺激があって良いと思います。
- ・交流できるとこはしたほうが良さそうだから
- ・今でもやっているのでも今のままで十分。日常的に一緒に生活させてわざわざリスクを増やすことはない。
- ・関わる先生が全員で無駄な会議とか増えるならやめた方がいいと思う効率化できるならやった方がよい
- ・情報共有し今直ぐ取り組みればよい
- ・実現できれば良いと思う。
- ・小学校、中学校内で十分。形骸化するだけで実際には起きない。
- ・縦の交流が現代全然ないので良いと思います。
- ・そういう時間が増える＝学習時間が減る
- ・小1～小6から小1～中3にする事でそんなに変わると思えない。義務教育学校でなくてもできると思う。
- ・昔に比べ満遍ない画一的なスキルよりも突出したスキルが求められる為早いうちに高いレベルの科目に出会える
- ・義務教育学校でなくてもできることだと思いますが…
- ・異年齢の関わりが増えたり、人数が増えることで、地域での顔見知りが増えることはいいが、マイナス点もある
- ・今までの小中交流でできる。
- ・上級生がケアラーになってしまうことを、小さい子、弱い子を支援できて偉い、に持っていくことは違うと思う
- ・それは、校舎を1つにする必要はないとおもう
- ・横だけでなく、縦でも自由な意見を交わせるようになるのはいい機会だと思う。
- ・後付の理由にしか思えない
- ・隣接する学校同士、お互いの学校を行き来して交流体験する機会をもうければいいと思う。
- ・小学6年間での縦割り交流でよいと思う。中学生になると多忙な日々、負担になると思う。
- ・合唱はよいが学年越えて調べ学習は上級生には仕切ったりかなり負担だし学習の時間としてはムダになりそう
- ・グループごとに差が出そうで心配。同学年だと言える意見も遠慮してしまい言えないかもしれない。
- ・たくさんの経験とはどういうことか具体的に分からない。
- ・その年齢にあった学習で良いと思う。
- ・今の状態で異学年の交流は可能でしょう。
- ・良いと思うがやり方はしっかり検討が必要
- ・先生が小中を交流させる手腕があるのか？
- ・こちらも、機会を作れば現状でも可能ではないか？
- ・小学一年生と中学3年生が同じものをどこまで一緒に楽しめるか疑問。

- ・音楽などについては学年という枠組みは不要だと思うので、良い。
- ・現在の状態でも可能と思う音楽の合唱などがあるが、全校生徒が入ると窮屈になるのではないか
- ・低学年からみた中学生はもう大人と同じです。中学生はまだ精神的に子供です一緒に活動して利点がない。
- ・特になし
- ・特に理由なし
- ・今まで小学校高学年が担っていた役割を中学生が担うことになると、高学年のリーダーシップが育たない。
- ・理想は良いが、内容の質が気になる。ただ交流するだけだと質の低い時間になる。それならば無駄。
- ・今までの、1-6年(中1-3)交流の範囲で充分。広げる必要が無い。義務教育学校はいらない。
- ・頻度にもよるが小中学生の男女交際が起きた場合を考えるとある程度距離があった方がいいのでは。
- ・小学生にとってはいいが、15歳が7歳から学ぶ事があるのか。小学生が見学する分にはよいと思う。
- ・志木2中卒業生ですが、先輩から痴漢被害にあったことがある。中学生全員が性に目覚めていないとも限らない
- ・今まで通り小学校内だけで学年全体の交流をすれば充分。小学生と中学生を交流させることのメリットが不明
- ・月1度程度、双方の学校訪問し交流程度で良いと思う。小学校内のふれあい活動で十分に思う。
- ・社会に出れば様々な年齢の人とかかわることになるので、はやいうちからそれに慣れるのは大事だと思うから
- ・中学生にとっては時間のロス
- ・音楽を聞き合うことなどについては、現状でも行っているもので、あえて別の形にする必要はない
- ・イベント的に行うのは良いと思うが、小中一貫型で十分実施できそうな内容に思えるり過剰に混ぜることは反対
- ・中学3年生の受験期など勉学に集中する時間が必要な子どもたちがうまく切り替えできるフレームが必要と思う
- ・異学年合同授業は良いが、中学との垣根を越えなくても良いと思う。小中一貫教育でも交流が深められれば良い
- ・良いと思うがその時間をどこから割くのかいまいち見えてこない
- ・お互い刺激があるから、良いです。
- ・普段交流がない人たちとの交流で得られるものもあるのでもいいと思う
- ・中3と小1では年齢が離れていて考えていることが違う。お互いが高められるような授業にしてほしい。
- ・小学生と中学生は学年によっては大きな隔たりがあるので、わざわざ一緒にしないでよいと思う。
- ・低学年には良い刺激になると思う。
- ・現状も出来ると思う。工夫ではないか。
- ・今までの活動で良い。あまりにも子どものやることが(先生も)増えて大変そう。
- ・それ自体は素晴らしいが、同じ学校にして、同じ校舎にしなければできないことではないと思う。
- ・子供たちの過ごしやすさに繋がる授業となるなら良いと思う。
- ・それは、義務教育学校にしくともできること。
- ・良いとは思いますが、学年ごとの発表を見ることが出来る今の形でも十分に思える。
- ・志木の森学園でなくても、やればいい
- ・その学年での親密さを大切にしたいから。
- ・交流させる必要性を感じない。刺激は受けるだろうが、ストレスも抱えるのでは？
- ・義務教育学校にする必要はなく、小学校と中学校が交流すれば十分だ。
- ・良いと思うけど、実現は相当先。
- ・合同で何をするに多くの時間と労力をかけ過ぎないようにする必要もありそうに感じます。
- ・実際そのような時間が取れるのかが疑問。小規模人数だからこそ出来ている縦割りの活動が子供に丁度良い
- ・良いことだか、学校を一つにしなくてもできることなのでは？
- ・学習内容が違いすぎる。中学生が小学生のお世話係になりかねない。
- ・小学校だけでも六学年あるので、別にそれ以上は無くてもいいと思う。
- ・小学生高学年が、中学生の悪いところを真似してしまったりする機会が増える気がする。
- ・実際にこの取り組みが行えるのならば良いと思います。
- ・見識が広がる。思春期のケアはきちんと欲したい
- ・総合的な学習？そんな教育が可能でしょうか？やった事例が志木市にあるのでしょうか。
- ・上の学年がケアラーを担わせられる風潮をなくせるのであれば良いのではないかと
- ・他学年との交流により、コミュニケーション能力も育ちそうだから
- ・良いことのように聞こえますが現状でも授業時間がギリギリの中でそのような時間がどれほど取れるか疑問。
- ・夢を見過ぎでは。任意参加なら良いが強制参加ならば不憫。
- ・互いを尊重しあえる精神があれば良いが、他人と比べて自身を卑下するような機会が増えないか心配
- ・勉強する場だけでなく、年代を超えて繋がっていくことを、ごく普通にしてほしいから。
- ・今以上に増えることは望まない。
- ・イメージがつかない
- ・異学年交流なら小学校は小学校、中学校は中学校でやったらいい。なぜくつつけるのか謎
- ・今までも交流の場はあったと思うので。
- ・イエナプランの様な異学年交流は教育的効果も大きいのでぜひ推進してほしい。
- ・その通りに出来れば良いですね。あくまで理想論であって、現実味は感じません。
- ・人数が多すぎるので、今のように小学校と中学校で時々、交流があれば良い。

- ・世代間の交流は最も推し進めてほしいところ。異年齢保育と同じような効果が期待できるのでは。
- ・そこも大切だが、それよりも小学校と中学校で変化をつけるほうが必要だと感じるから。
- ・芸術やスポーツ面は良いと思うが、他の総合的学習が小中の学力差がありすぎて合わせる必要性が分からない。
- ・思いやりが育まれたり、心が豊かになる交流は大切だと思う。
- ・施策はいいと思いますが、義務教育学校でないと出来ない事なのか理解が出来ていません。
- ・年齢幅がある交流は良いと思う。ではなぜ小中だけで、中高はないのか？
- ・総合の時間などで学校をひとつにしなくても、運営でいくらでもできる。職場体験のように期間を決めてやる。
- ・子供が嫌がっている
- ・小学生と中学生ではレベル差がありすぎる
- ・多感な中学生に色々押し付ける形にならないかと心配です。
- ・交流自体はいいと思うが、一貫校にしなくても出来ること。
- ・小学は中学の学びを知れるが、中学から小学はかわいい、生意気とかその程度の感想しか無いと思う。
- ・良い取り組みだが、校舎が一体的にならなくても出来ることではないか。義務教育学校以外ではできないのか？
- ・小学校低学年は学校に慣れる事が優先なので、不安にならないよう中学生とは高学年のみでいいと思う
- ・より多くの交流から刺激を受けるのはよいことだと思う。四小の使い道もプラスアルファの学習に充ててほしい
- ・普段交流できない経験をでき、交流が増えることはいいと思います。
- ・受験生の負担が増えたらかわいそうと思う。慣れている子はいいけれど、負担に感じる子もいるのではないかな。
- ・これも、やろうと思うなら今のままでも出来るはず。校舎が近いので。
- ・それを実現させる為には総合的な時間以外に準備等の時間も必要に。教員と学生本業に集中させてあげて欲しい
- ・義務教育学校でなくてもできる
- ・良いと思うが、小中一貫にしなくともトライできたのではないかな。トライしてきた場合何が課題だったかが不明
- ・小学校では、音楽の先生が、小学校は常に怒っていて、子供達が楽しく学んでない。
- ・コロナ世代は他学年交流があまり出来なかった、沢山交流して欲しい
- ・良いと思いますが義務教育学校ではなくてもできると思います。
- ・今通ってる保育園も異年齢保育を取り入れているため。
- ・良い面もあります。高学年の自覚をもってもらうことも大切だと思います。多学年交流は配慮をお願いします。
- ・1学年の人数が多くなるため交流がどれくらいできるか疑問は残る
- ・中学生は高校受験に備え、学業に集中した方が良いと思うから。
- ・良いと思うが、義務教育学校の形を取らなくてもできる事なのではないかと思う。
- ・今のままでもこの程度の交流は可能。一貫にする必要はない
- ・小学生からするとメリットが多いと思う。中学生的にはメリットがあるのか疑問。
- ・今のままでも十分交流可能だと思います。
- ・義務教育校でなくてもできるのでは？とは思いますが
- ・その時だけ交流すれば良いと思う。部活の発表を鑑賞すれば、そのうちPTA費もタダになる。
- ・六年生で最高学年という責任を経験するべきだと思うから
- ・異年齢での交流活動があるのはお互い刺激になり良いと思う。
- ・上下関係や異年齢との関わりを学べるよい機会と考えるから。
- ・異学年との交流は心の成長には良いとおもいます。上の学年への尊敬の心、下の学年への思いやりなど。
- ・取組自体は良いが、各学年のカリキュラムを考えると頻繁な実施ではないなら校舎一体型でなくても実現可能
- ・年が離れすぎていると考え方の共有などもできないと思うので、必要性を感じない。
- ・髪の毛のゴム一つで「色がある事で他児の刺激になって邪魔」との説明があったのに、その交流は必要なのか
- ・いいと思うが、校舎を繋げる必要はやりないように思う
- ・異年齢保育と異年齢学習は別物。学習は学年でやる、異年齢との関わりは、レクで十分
- ・5.6年生の高学年で下の子をまとめるという意識が薄れそう。（中学生が主体になる為）
- ・小学生は小学校、中学生は中学校で学ばせるべき
- ・憧れや目標等が異学年との交流により増えるのは良いと思う。
- ・良い面もあれば成長にあった議論がしにくい場合もあり良し悪しだと思います
- ・必要ない
- ・下の子のレベルに合わせることになるので。
- ・これもわざわざ一体化せず、行き来すれば良いと思います。
- ・下の子たちは訳わからずについて行くだけになりそう。
- ・9歳も離れた子どもを合わせる意味があまり感じられない
- ・多学年と交流することで憧れや、学びがあるため大変よい。
- ・今の小中一貫教育の体制で十分だ。
- ・その通りと思う。反対する理由がない。
- ・中学生の合唱は今も聴かせてもらっている。調べ学習を合同でやるのは今でもできる。
- ・全て今のシステムのまま行えば良い。
- ・合同学習の必要はないと思う

- ・そこまでまとめる必要はない。小学生は小学生の中で、中学生もしかり。そのレベルの交流がちょうど良い
- ・「異学年での合同授業」は小学校内でも可能であると思うので、義務教育学校のメリットとは感じない。
- ・沢山の人数が交流すれば、いじめや喧嘩が増えるのではないのでしょうか。先生方は対応しきれのでしょうか。
- ・中学生にとってはただのボランティア。受験への集中が削がれたり、同世代の行事の楽しさが減るのは本末転倒
- ・今ある環境でも、交流の機会を作れば可能なことだと思う。
- ・低学年の生徒が中学生を意識して見ることができると思えない。交流会で十分。
- ・そのことの必要性を感じない
- ・小学生が中学生の活動を見えるのは刺激があっていいが、逆は退屈ではないか。
- ・前項同様
- ・閉鎖的なコミュニティの中なので、異学年交流は必要と思う。今は子供たちも楽しみにしている。
- ・今のままで十分満足しています。
- ・交流は、とても良いと思う。もしそれが本当にできるならとても良いことだと思う。
- ・良い経験になると思うが、それなら今の段階で頻繁にそのような交流の企画を増やせばいいだけではと思う。
- ・音楽の授業等では魅力を感じない。実際にどの程度書かれている内容が実行できるかが問題。
- ・理想で実際にできたら良いが、総合の時間が全学年関われるようちゃんと取れるのかは疑問である。
- ・小学校と中学校の触れ合いは今までもある。頻度を増やせばいいだけ。